HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

日立電気洗濯乾燥機

型式
ビーダブリュー ディーブイ ジェイ
BW-DV80J



ビートウォッシュ
日立洗濯乾燥機

日立家電メンバーズクラブの
My家電への製品登録をおすすめします。

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- ●家電品の登録・管理
- ●お役立ち情報
- ●安全点検サービス割引
- ●パーツショップ送料特典
- ●お知らせ

登録は
こちら

詳しくはP.91をご覧ください。

このたびは日立電気洗濯乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、据付説明書・据付チェックシートとともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→**(P.8～11)**をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品 4
操作パネルのはたらき 6
安全上のご注意 8
使用上のご注意 12
据え付け状態の確認 12
ふたの開閉をする 13
チャイルドロックを設定する 13

お洗濯の前に

お洗濯の基本の3ステップ 14
洗濯物の確認と準備 16
洗濯も乾燥もできないもの 16
乾燥できないもの 16
洗濯物の準備 17
洗濯物の量と重さの目安 18
洗濯物の片寄りを防ぐ 19
洗濯物のかみこみを防ぐ 19
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた 20
洗濯物の量の計測と洗剤量表示 20
洗剤・漂白剤・柔軟剤量 20
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた 22
石けん(天然油脂)の入れかた 23
洗濯のりの使いかた 25
使用できる洗濯のり 25

使いかた

風呂水を使う(お湯取運転) 26
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた 26
お湯取運転の設定 28
運転コースの選びかた 30
標準コース・おいそぎコース 32
手造りコース(自分でコースを造る) 33
シワ低減洗濯コース 34
デリケートコース 35
おしゃれ着コース 36
毛布コース 38
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた 40
毛布・掛け布団の干しかた 41
シワ低減コース 42
低温乾燥コース 43
除菌清潔プラスコース 44
乾燥する 45
乾燥運転の時間を使い分ける 45
AIお洗濯を使う 46
洗濯槽自動おそうじを使う 47
ナイアガラすすぎを使う 47
つけおき つけおきプラスを使う 48
行程内容 48
温水 ナイアガラビート洗浄を使う 49
温水「温め自動」 49
温水「90分」・温水「180分」 50
予約運転をする 52
予約ボタンの使いかた(切り替え内容) 52
お好みの設定で運転する 54
水量・洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する 54
水量を手動で変更する 54
「脱水」のみなどの個別運転をする 55
運転内容と変更できる内容 56
便利な使いかた 58
運転スタート音・終了予告音・終了音の設定 58
終了予告音の設定 58
すすぎの給水時間を長くする(回転シャワー) 59
水量を多めにする 59
脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水) 60
乾き具合を調節する 60
洗濯液を2度使う 61

お手入れ

お手入れをする 62
- 糸くずフィルター 62
- 乾燥フィルター・乾燥フィルター差し込み口 63
- 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口) 64
- 柔軟剤投入ケース 65
- 柔軟剤投入ケース差し込み口 65
- 本体 66
- 内ふた 66
- 洗濯・脱水槽 66
- 給水口 67
- 風呂水吸水口 68
- お湯取ホース・クリーンフィルター 68
- 排水口・排水トラップ 69

洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース) 70
- コースの使い分け 70

お困りのとき

お知らせ表示(「C○○」などが表示)されたとき 72

こんな音がしたとき 74

本体各部 75
- ❶ 本体・振動・音 75
- ❷ 給水口・給水 76
- ❸ 排水口・排水 76
- ❹ ふた 76
- ❺ 洗濯・脱水槽 77
- ❻ 風呂水吸水口・風呂水吸水 77
- ❼ 乾燥フィルター 77
- ❽ 柔軟剤投入ケース 77

本体の運転動作 78
- ❾ 運転動作 78
- ❿ 運転時間 79

操作パネルの表示内容 80
- ⓫ 水量表示・洗剤量表示 80
- ⓬ 残時間表示 80

洗濯物の仕上がりが気になる 81
- ⓭ 衣類に洗剤残りがある (白いものが残る) 81
- ⓮ 糸くずが気になる 81
- ⓯ 汚れ落ちがわるい 81
- ⓰ 色移りや変色が気になる 82
- ⓱ 洗濯物がゴワゴワする 82
- ⓲ 衣類のにおいや黒ずみ、黄ばみが気になる 82
- ⓳ 乾きがわるい 83
- ⓴ 乾燥ジワが気になる 83

アフターサービスなど

もしものとき 84
- 給水ホース内の水抜きをするとき (引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき) 84
- もしも凍結したとき 85

別売り部品 86

仕様・試験結果 87

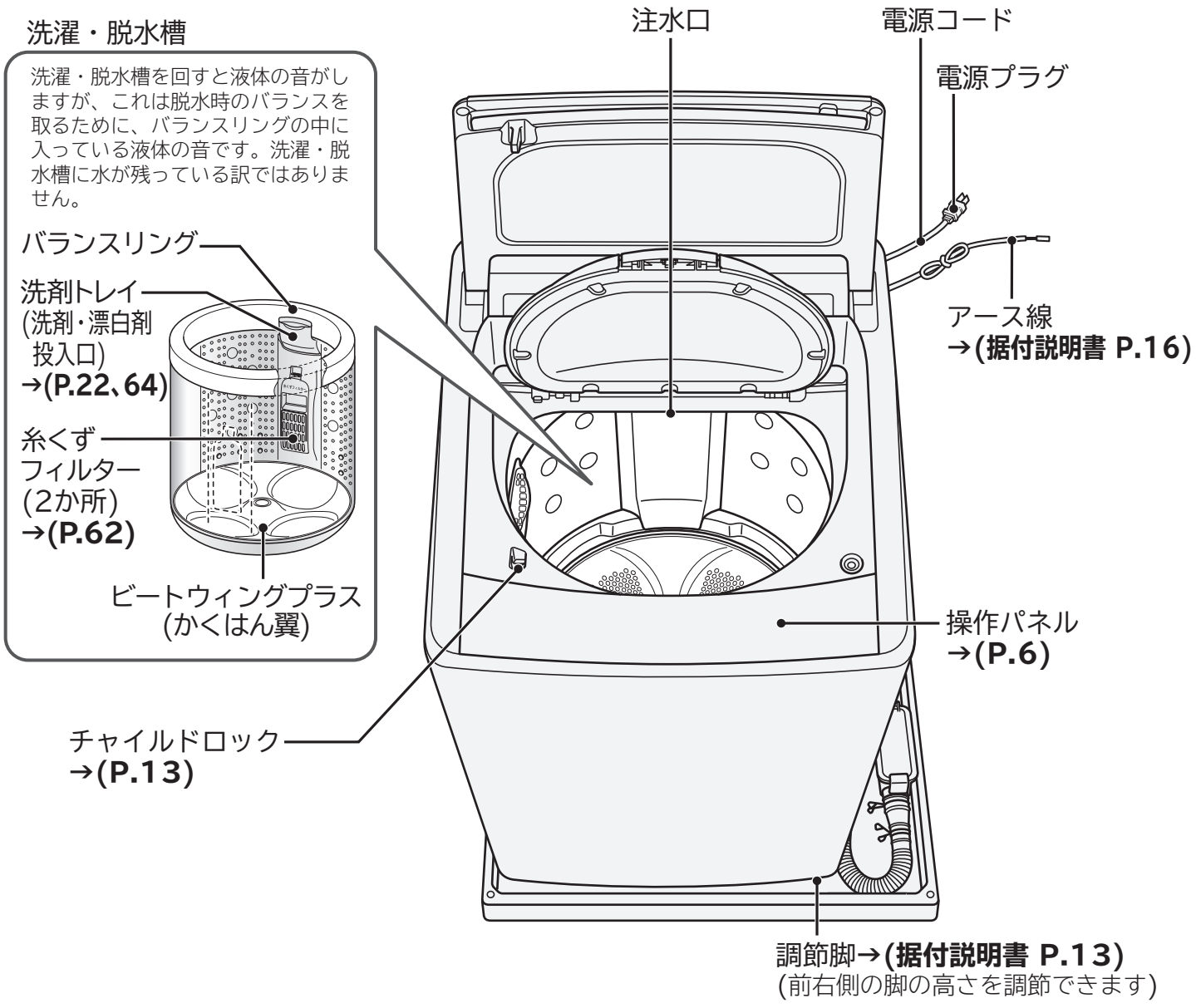
保証とアフターサービス 89

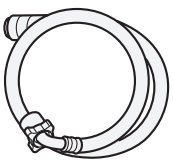
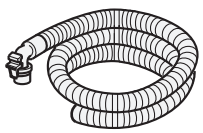
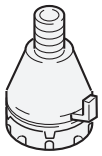
日立家電メンバーズクラブのご案内 91

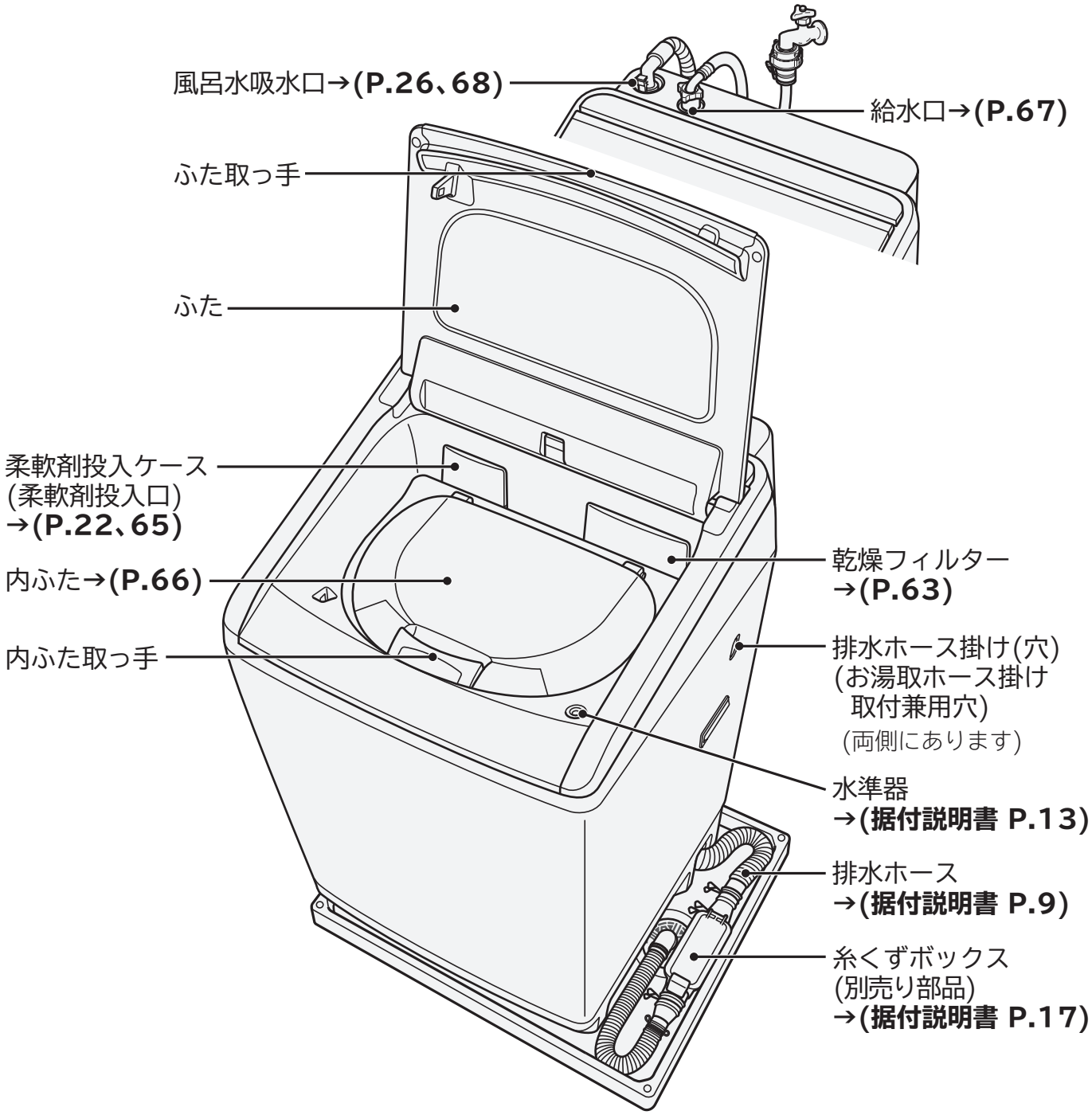
保証書 92

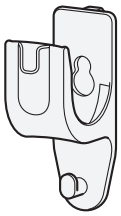
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→**(P.○○)**で示しています。



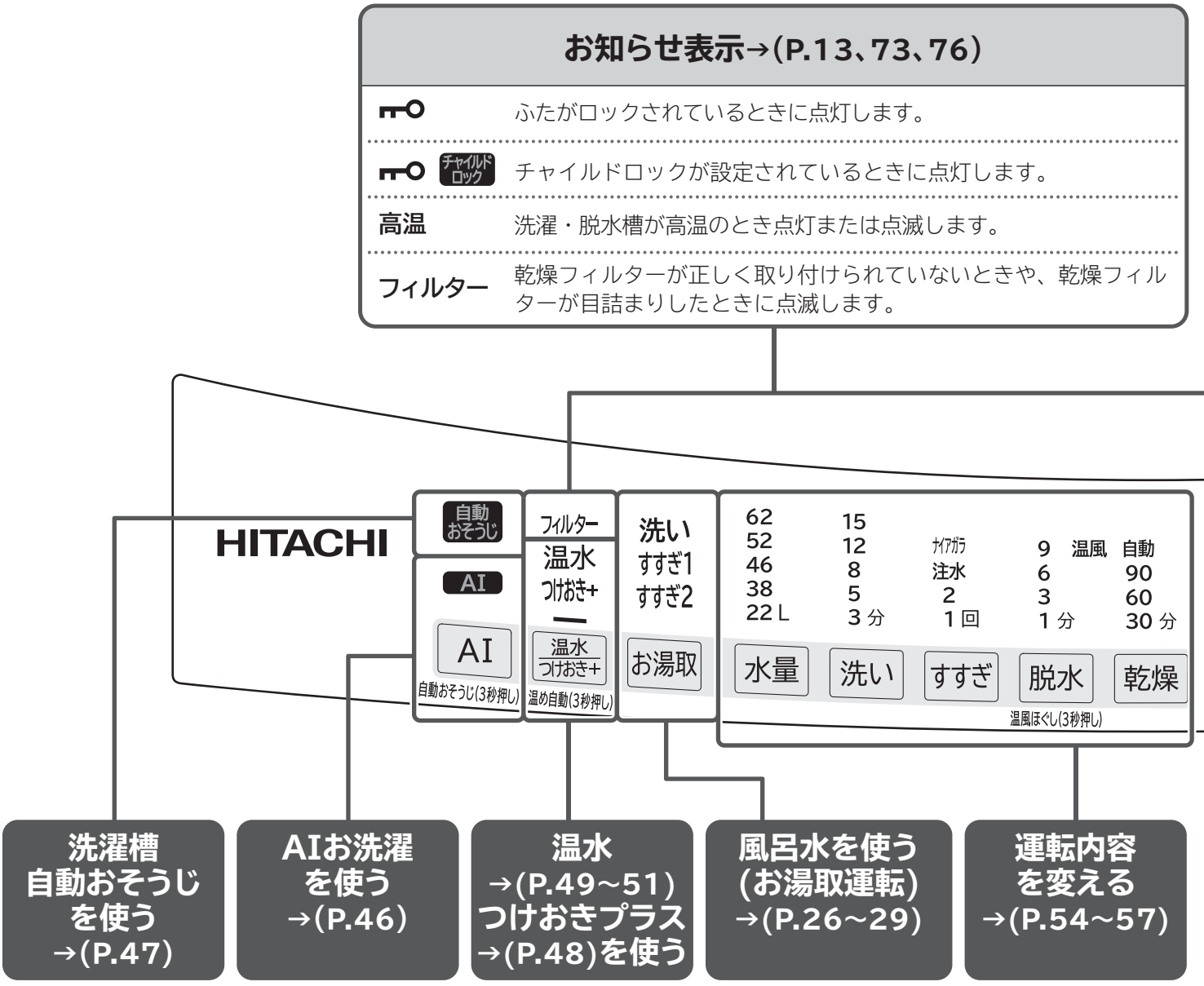
付属品		
水栓(蛇口)との接続に使用します	風呂水を使うときに使用します	
給水ホース (約0.8m) →**(据付説明書 P.14)**  (1本)	お湯取ホース (約4m) (吸水ホース) →**(P.26)**  (1本)	クリーンフィルター →**(P.26)**  (1個)



	お湯取ホースを片づけるときに使用します	本体を水平に据え付けるときに使用します
	お湯取ホース掛け →(P.27)  (1個)	脚キャップ (高さ調整用) →(据付説明書 P.12)  4mm　8mm (各1個)

操作パネルのはたらき

説明のため、すべての表示を点灯状態にしているので、実際の表示とは異なります。



残時間表示の見かた

表示例

1時間30分の場合



30分の場合



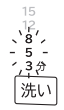
10時間以上または洗濯物の量を自動計測している場合



表示の見かた(☼ は点滅を表します)

表示例

「洗い(8分)」運転中



「すすぎ1」運転中
(すすぎ2回設定時)



「ほぐし」運転中



「洗剤量(0.7杯)」表示



つけおきプラス「30分」運転中



「脱水(6分)」運転中



「乾燥(自動)」運転中



「乾燥」運転中
(乾き具合を調節中)



「AIお洗濯」運転中
(表示は条件によって異なります)



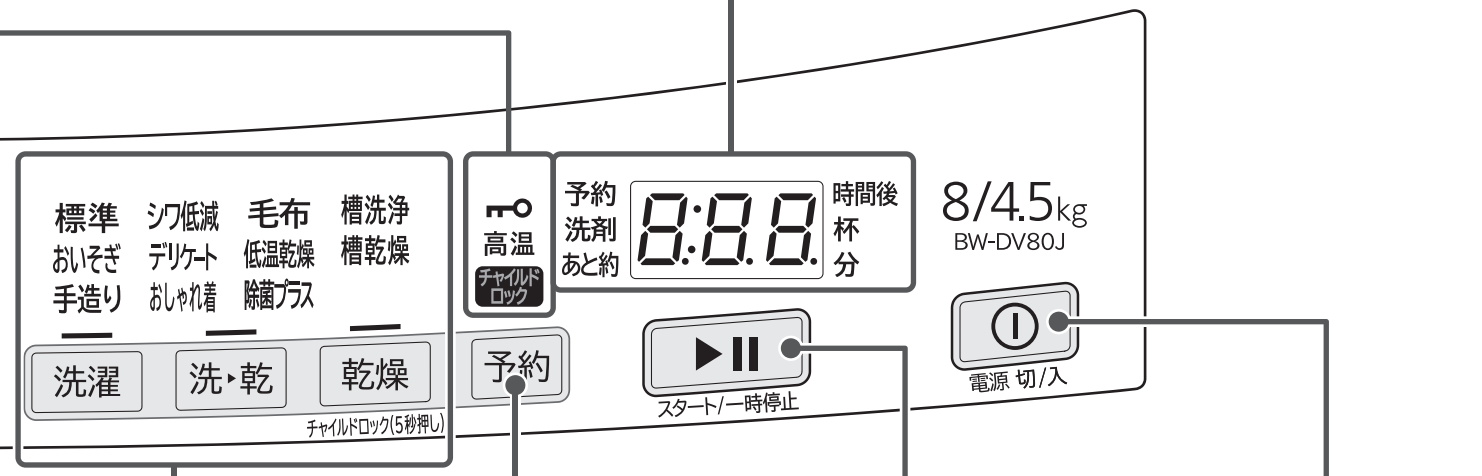
洗剤量・残時間・予約時間・お知らせ表示
→(P.20、52、72、80)

●運転スタート後に洗剤量・残時間の目安が表示されます。

●「予約」を押すごとに予約運転終了予定時間が表示されます。

●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。

例：C02、F01など



コースを選ぶ
→(P.30~45、70)

予約運転をする
→(P.52)

スタート／一時停止

スタートや一時停止を行います。

一時停止の状態で1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。ただし、乾燥開始から一定時間経過後は、15分以上放置すると、自動で電源が切れます。

電　源

電源の切・入を行います。

電源を入れたあと、20分以内にスタートをしないと、自動で電源が切れます。

■ボタンを長押し操作することで設定を変更することができます。

例：乾燥 **を5秒以上押すと、チャイルドロックの設定・解除ができます。→(P.13)**

ほかにも、長押し操作で設定・解除ができる機能があります。
便利な使いかた→**(P.58~61)**

操作パネルの点字表記について

目の不自由なかたのために操作パネルの位置がわかる「点字シール」(操作パネルにはり付けます)をご用意しています。ご希望のかたは、「製品情報や使いかたに関するご相談窓口」へお問い合わせください。→(P.90)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
⚠「警告や注意を促す」内容のものです。
してはいけない「禁止」内容のものです。
実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）


禁止

●電源コードを傷つけない
・傷つけない、加工しない　・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
・加重をかけない、挟み込まない
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない


指示

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグを根元まで差し込む
●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る


プラグを抜く

●電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
●お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く


アース線接続

●アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたのガラス部の割れや傷のおそれ）


水場禁止

●浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。


禁止

●キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。
●内ふたを閉めるときに洗濯物を挟まない
内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押して内ふたを閉めてください。
内ふたが閉まっていないと、洗濯物の自然発火や破損の原因になります。

⚠警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）


禁止

●引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこなど

●油や引火物が付着した洗濯物、引火の可能性がある洗濯物を乾燥させない
・植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物
・樹脂(セルロース系)　・ポリプロピレン繊維の製品　・スポンジの入ったもの

●揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない

●お湯取ホースで、灯油やガソリンなど水以外のものを吸い込まない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）


プラグを抜く

●本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する


分解禁止

●分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。

●本体にはり付けているシール類ははがさない


水ぬれ禁止

●本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない


禁止

●入浴中は風呂水吸水をしない

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）


禁止

●子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、やけど、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
チャイルドロックの設定ができます。→(P.13)

●子どもにふたの強化ガラス面に乗らせない

●操作に不慣れなかただけでは使わせない

●液体洗剤や柔軟剤は、子どもの手の届かないところ、見えないところに置く
液体洗剤や柔軟剤を誤飲するおそれがあります。


指示

●付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）


接触禁止

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）


指示

●洗剤は表示に従って適量を入れる →(P.20)

⚠注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯・脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。

禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水がたまっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。

防水性・繊維製品の例

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。



●一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けが、やけどを防ぐために

禁止

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●乾燥運転中や乾燥運転終了直後は、内ふた周辺の金属部、洗濯・脱水槽内、洗濯物(ファスナーや金属ボタン)を触らない

●ふたはふた取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない

ふた開閉アシスト機構を搭載しています。無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながることがあります。
本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。
ふたを途中まで開け、手を離した場合、アシスト機構が作動しません。
室温によって、ふたの閉まる速度が変化する場合があります。

水漏れを防ぐために

指示

●運転前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩み、さびや傷などがあると水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)の接続部を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

●給水ホースと本体の給水口の間にアダプタ類や中継物を介在させない

給水ホースは本体の給水口に直接取り付けないと水漏れの原因になります。

⚠注意

風呂水運転時の水漏れを防ぐために

（サイホン現象により、お湯取ホースから残水が流れ出して水漏れや床をぬらすおそれ）


禁止

●風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない
●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

洗濯物の損傷を防ぐために


指示

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

けがや水漏れ、本体の損傷や故障を防ぐために


禁止

●50℃以上のお湯を使用しない
●給湯器とつながない
洗濯機へ給水される水温が50℃を超えると、給水経路のプラスチック部品の変形や、傷みが発生することがあり、漏水や漏電・感電のおそれがあります。

●ふたの強化ガラス面の上にのぼったり、ものを置いたり、落としたり、衝撃を加えない
けがをするおそれがあるので、ひびが入ったり、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●ふたの強化ガラス面には、洗濯かごなどのものを置かない
強化ガラスは普通のガラスに比べ強度が高く、安全性の高いガラスですが、強い衝撃や力を加えると、破損してけがをするおそれがあります。万一、ひびが入ったり、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●本体や内ふたの上にのぼったり、重いものを置いたりしない
また、内ふたの上面を強く押したりしない
内ふたや裏面のプレートが変形してけがをするおそれがあります。

●運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、水漏れや本体の故障の原因になります。
また、洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損、洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれがあります。

●直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色して本体が故障するおそれがあります。


指示

●別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレー→(据付説明書 P.17)を設置する
床面を結露による水滴から守るときに、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

●断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

●**運転中は電源プラグを抜かない**（本体の故障のおそれ）
一時停止ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。

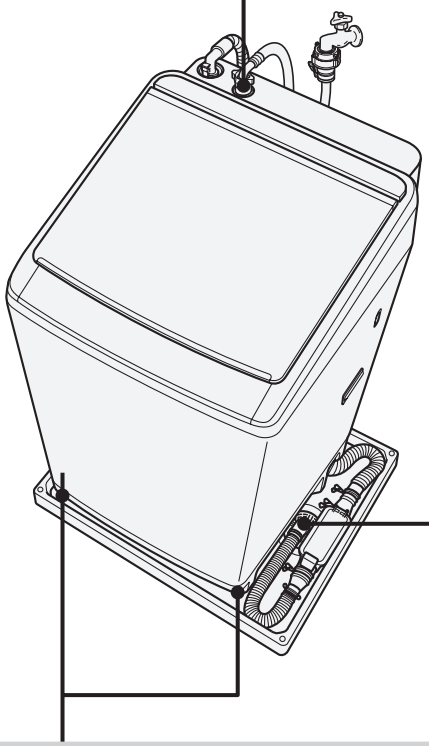
●**本体にテレビやラジオを近づけない**（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。

●**洗濯物を入れ過ぎない**（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラや乾きムラが発生したりするおそれ）

●**乾燥運転中は十分に換気をする**（換気が不十分だと窓や壁などが結露するおそれ）

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



水漏れを防ぐ

●水栓を開いたとき、本体側と水栓(蛇口)側の給水ホース接続部からの水漏れはありませんか？
→(据付説明書 P.14、15)

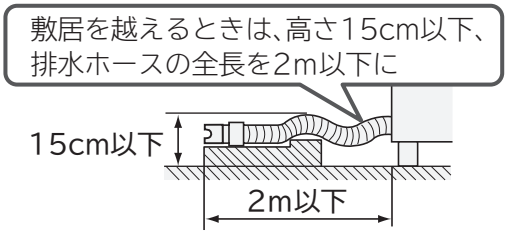
●水栓および給水栓継手は、本体に触れていませんか？

●給水ホースのつめが、給水栓のツバにしっかり掛かっていますか？
→(据付説明書 P.4)

排水異常を防ぐ

●排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？

●排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？**→(据付説明書 P.10)**



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

●本体が水平に設置されていますか？
水準器の気泡が円の中に入るように、調整脚や脚キャップで本体の水平を調節してください。
→(据付説明書 P.12)

排水時の停止を防ぐ(お知らせ表示C02、C18の表示)

●排水口が掃除できるように設置されていますか？
排水口・排水トラップは月１回を目安にお手入れをしてください。**→(P.69)**

●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス**→(据付説明書 P.17)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

ふたの開閉をする

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れとふたのロック表示



洗濯から乾燥運転中にふたを開ける手順

1 一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する

- 洗濯・脱水槽の回転が止まると、 が消灯します。
- 乾燥運転中に一時停止をした場合、洗濯・脱水槽が高温のため、1～15分の冷却運転が始まります。
  冷却運転後、 高温 が消灯すると、ふたは開けられます。→(P.76)
  無理にふたを開けると、ふたが破損するおそれがあります。

2 内ふた、ふたを閉め、スタートボタンを押し、運転を再開する

- が点灯してふたがロックされ、運転が始まります。
- しっかりふたを閉めないと、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。
- 洗濯・脱水槽が高温のときは、 **高温** が点灯します。
- すすぎの運転中に一時停止をした場合、運転再開後、次の脱水運転が始まる前にふたがロックされます。
- 「おしゃれ着」「毛布」コースは洗いからふたがロックされます。

チャイルドロックを設定する

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、電源を切った状態や運転前、運転中に強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

電源が入っていないとき

1 内ふた、ふたを閉め、電源を入れる

2

設定するとき

乾燥 を5秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、設定完了音「ピッ」が鳴り、 と チャイルドロック が点灯し、チャイルドロックが設定されます。

設定を解除するとき

乾燥 を5秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、設定完了音「ピー」が鳴り、 と チャイルドロック が消灯し、チャイルドロックが解除されます。

3 電源を切る

運転をしているとき

チャイルドロックの設定は、運転中いつでもできます。解除するときは、運転を一時停止してから行ってください。

設定するとき

乾燥 を5秒以上押す

設定完了音「ピッ」が鳴り、 と チャイルドロック が点灯し、チャイルドロックが設定されます。

設定を解除するとき

1 一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する

2 乾燥 を5秒以上押す

設定完了音「ピー」が鳴り、 と チャイルドロック が消灯し、チャイルドロックが解除されます。

3 スタートボタンを押し、運転を再開する

チャイルドロックが設定された状態で運転が終了すると、電源が切れていてもふたは開けられません。
ふたが開かないとき→(P.76)

お洗濯の基本の3ステップ

お洗濯の基本的な流れを説明します。

1 準備する

洗濯物の確認と準備→**(P.16)**

❶水栓(蛇口)を開ける

❷洗濯物を入れる

防水性の衣類などは入れない
→**(P.10)**

❸電源を入れる



2 コースを選ぶ

洗濯 、 洗・乾 、 乾燥 のいずれかを押し、コースを選ぶ



運転コースの選びかた→(P.30)

[標　　準]コース
[おいそぎ]コース
[手 造 り]コース
[シワ低減洗濯]コース
[デリケート]コース
[おしゃれ着]コース
[毛　　布]コース
[シワ低減]コース
[低温乾燥]コース
[除菌清潔プラス]コース

運転コースを選んだあと、各機能の設定・解除ができます。お好みに合わせて設定してください。
組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

3 スタートする

1 ▶II を押し、洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる
→(P.20)

表示されている洗剤量(目安)に従って、
洗剤などを投入口に入れる

2 内ふた、ふたを閉める

内ふたを閉めるときは、洗濯物を挟んだままにしないで
ください。また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」
と音がするまで押してください。

運転中・・・

3 運転終了後、洗濯物を取り出す

4 お手入れをする

毎回のお手入れ→(P.62、63)
(糸くずフィルター、乾燥フィルターなど)

そのほかのお手入れ→**(P.64～69)**

[槽洗浄]コース→**(P.70、71)**

[槽乾燥]コース→**(P.70、71)**



洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も乾燥もできないもの

洗濯物の縮み、形くずれ、変色、風合い劣化などの原因になります。
また、洗濯物が洗濯・脱水槽内の隙間に挟まり、洗濯物の損傷や部品破損の原因にもなります。

- ●次のような取扱絵表示が付いているもの
  -  (家庭での洗濯禁止)表示
  -  (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示
- ●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
- ●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- ●ネクタイ、スーツ、コート
  ただし、「除菌清潔プラス」コースは使用できます。→**(P.44)**
- ●和服、和装小物製品
- ●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- ●シルク製品
- ●ベルベットなどのパイル地製品
- ●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- ●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- ●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどの原因になります。

- ●防水性製品 →**(P.10)**
  洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
- ●玄関マット、ラグマット、敷物
  ・裏面にゴムが付いているもの
  ・厚手のもの　・毛足の長いもの
- ●カーペット
- ●座布団や枕、クッションなど
- ●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ●ペットの毛が多量に付着したもの

乾燥できないもの

洗濯物の縮み、シワつき、変色、風合い劣化などの原因になります。
また、洗濯物が洗濯・脱水槽内の隙間に挟まり、洗濯物の損傷や部品破損の原因にもなります。

- ●ゴムやウレタンなどを使用した製品
- ●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
- ●布団類などわたを使用した製品
- ●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
- ●タイツ
- ●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
- ●濃い色のプリントもの
- ●次のような取扱絵表示が付いているもの
  -  (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示
  -  つり干しがよい
  -  アイロンは、低温で掛けるのがよい
  - アイロン掛けはできない
  - (タンブル乾燥禁止)などの注意表示

油などの酸化熱による自然発火や引火の原因になります。

- ●油が付着したもの
  植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物や樹脂(セルロース系)などが付着したもの
- ●ポリプロピレン繊維の製品

乾燥フィルターが目詰まりする原因になります。

- ●のり付けしたもの

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す		ヘアピン、つまようじなどの先のとがったものや硬貨などを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める		衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷みの原因になります。 ひもが洗濯・脱水槽内の穴に入って抜けなくなり、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす(えり、そで口などの脂汚れ)		しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておくと、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く		大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返しする		毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や、かくはん翼でのこすれは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちや損傷などを防止するために、分けて洗濯してください。

色落ちしやすい洗濯物	●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないことを確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同系色の洗濯物を2、3枚まとめて洗濯してください。 ●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	●タオル・バスタオル・フリースなどは分けて洗濯してください。 ●コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物、ストッキングなどは、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗濯してください。
デリケートな洗濯物・小物類	●洗濯物の注意表示に洗濯ネット使用の記載があるものや、レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯物の損傷を防ぐためにも、洗濯ネットに入れて洗濯してください。 ●ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗濯してください。
薄手の洗濯物	●生地が薄い衣類などは洗濯ネットに入れて洗濯してください。 洗濯・脱水槽の隙間に入って、洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。

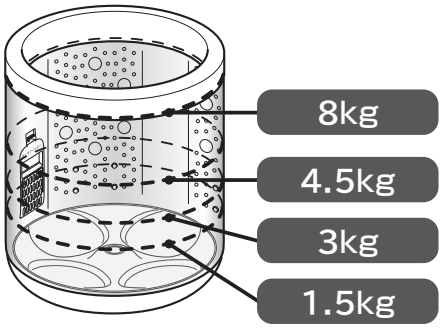
洗濯物の確認と準備　つづき

洗濯物の量と重さの目安

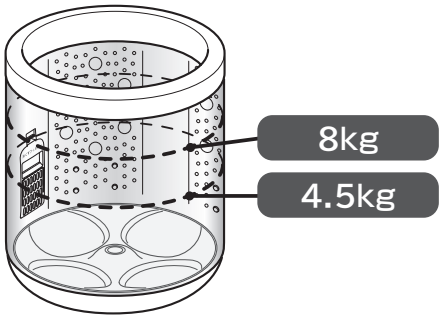
運転コースによって、洗濯・乾燥できる量と重さが異なります。→(P.30)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

洗濯時の乾いた洗濯物と脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安

乾いた洗濯物



ぬれた洗濯物



衣類別の一枚当たりの重さの目安

各衣類の重さを確認するための目安です。各衣類の素材や大きさにより実際の重さは異なります。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	ブリーフ、靴下		
100g	肌着		タオル
200g		ワイシャツ	
300g			バスタオル
400g		パンツ、スカート	パジャマ上下
500g			シーツ

各衣類の重さの目安は、一般社団法人　日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物を傷めたり、本体の故障の原因になるため自動で片寄りを修正する動作を行います。そのとき、運転時間が長くなります。
自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

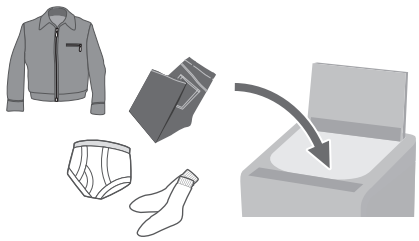
洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に広げて入れてください。  ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 片寄りが起こりやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。 2、3個の洗濯ネットに分けて入れてください。 ●一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しないでください。 洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。 ※洗濯ネットのファスナーは閉めてください。 閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。
大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。 一つだけで洗濯しないでください。 ほかの洗濯物を2、3枚追加して洗濯してください。  ●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗濯物のかみこみを防ぐ

かさばるものや水に浮きやすい洗濯物、小物類から先に洗濯・脱水槽に入れてください。
または洗濯ネットに入れてください。

水に浮きやすい洗濯物の例

●ジャンパーなど表地や裏地が化繊100%のもの
●フリースなど化繊100%あるいは混紡のもの



給水後は十分に水を含ませるために運転を一時停止させて上から押さえてください。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

洗濯物の量の計測と洗剤量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量が表示されます。

1 **1** 水栓(蛇口)を開ける　**2** 洗濯物を入れる
3 電源を入れる

2 運転するコースを選ぶ

3 **1** スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、右表を参考に洗剤などを入れる

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。



表示例：洗濯物の量を測定中

洗濯物の量に合わせた水量と洗剤量(目安)が表示されます。



表示例：水量52L



表示例：洗剤0.7杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



表示例：1時間30分

洗剤量(目安)の再表示

洗い終了までの間に 洗い を押す



(押している間、洗剤量が表示されます)

2 内ふた、ふたを閉める

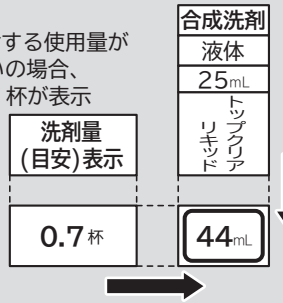
ふたを閉めてから、約1分後に給水が始まります。
ふたを閉めた状態で点滅しているコースボタン(洗濯・洗▸乾)を押すと給水開始までの時間を短くできます。ふたが開いていると給水されません。

3 運転終了後、洗濯物を取り出す

4 お手入れをする

洗剤・漂白剤・柔軟剤量

【表の見かた】
例えば、水量30Lに対する使用量が25mLの洗剤をお使いの場合、操作パネルに洗剤0.7杯が表示されたとき、約43mLを投入口に入れてください。



洗剤量(目安)表示が表示される

※1 水量はコースによって、手動で設定してください。

水量(手動設定)/洗濯物の量 ※1	洗剤量(目安)表示	
		おしゃれ着用洗剤 ※2
62L 約8kg以下	0.8杯	2.0杯
52L 約8kg以下	0.7杯	1.7杯
46L 約4kg以下	0.6杯	1.5杯
38L 約3kg以下	0.5杯	1.2杯
22L 約0.5kg以下	0.3杯	0.7杯

温水「90分」を設定したときは、上の表の使用量を参考にしてください。

温水「180分」を設定したとき

38L 約2kg以下	1.0杯	—

温水「180分」を設定したときは、粉末合成洗剤を使用してください。
(粉末合成洗剤を通常の約2倍使用)

洗剤および洗濯物の量

- ●洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- ●香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- ●表の洗濯物の量は、JIS（日本産業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
  洗濯物の量は、最大洗濯容量の7～8割が適当です。

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認し、操作パネルに表示された洗剤量(目安)表示に従って、適量を投入口に入れてください。

※2 おしゃれ着コースでは、おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)を使用してください。　（2023年3月現在）

合成洗剤						石けん		漂白剤				柔軟剤			
粉末		液体			液体中性	粉末	液体	粉末		濃縮	普通	濃縮		普通	
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)															
18g	30g	10mL	25mL	30mL	40mL	36g	45mL	8g	10g	20mL	40mL	7mL	10mL	16mL	20mL
アタック	トッププラチナクリア部屋干しトップ	アタックZERO ナノックス	トップクリアリキッド アタック	アリエール	おしゃれ着用洗剤 ※2 エマール・アクロン	そよ風	液体石けん（ミヨシ）	ブライトSTRONG 極パウダー	ワイドハイター PRO 強力分解パウダー	ワイドハイターEXパワー ブライトSTRONG	手間なしブライト ワイドハイター	ふんわりソフラン	ハミング消臭実感 ソフラン	レノア	ハミング
38g	62g	21mL	52mL	62mL	83mL	75g	93mL	17g	21g	42mL	83mL	15mL	21mL	34mL	42mL
32g	52g	18mL	44mL	52mL	70mL	63g	78mL	14g	18g	35mL	70mL	13mL	18mL	28mL	35mL
28g	46g	16mL	39mL	46mL	62mL	56g	69mL	13g	16g	31mL	62mL	11mL	16mL	25mL	31mL
23g	38g	13mL	32mL	38mL	51mL	46g	57mL	11g	13g	26mL	51mL	9mL	13mL	21mL	26mL
14g	22g	8mL	19mL	22mL	30mL	27g	33mL	6g	8g	15mL	30mL	6mL	8mL	12mL	15mL
46g	76g	−	−	−	−	92g	−	11g	13g	26mL	51mL	9mL	13mL	21mL	26mL

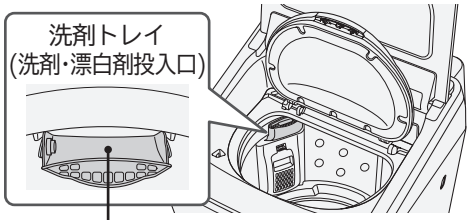
●使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤・石けんの容器に記載されている「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。
洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。
記載されていない場合は、洗剤メーカーにお問い合わせください。
●AIお洗濯動作時は、規定洗剤量の約1割減が洗剤量(目安)表示となるときがあります。
環境条件(水の硬度や水温など)により、洗剤量(目安)表示が変わらない(設定なしと同じ)ときがあります。
●ドラム式洗濯乾燥機と使用量が異なりますので、注意してください。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた　つづき

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

洗剤(粉末・液体)と漂白剤は、同じ投入口です。
柔軟剤は、洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。
指定の投入口に洗剤量(目安)表示に従って正しく入れてください。

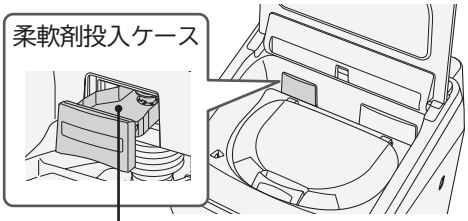


洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)

洗剤残りを防ぐために

●洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)がぬれている場合は､乾いた布でふいてから､洗剤を入れてください。
●固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。
●粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。

●漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。
変色、布破れの原因になります。



柔軟剤投入ケース

●最大(50mL)量を超えないように入れてください。
(柔軟剤がすぐに流れ出して洗濯物の変色や黒ずみの原因になります)
●ゼリー状になったもの、粘性の高いもの、固まったものや分離した柔軟剤は使用しないでください。
(溶け残りにより水漏れの原因になります)
●柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。
(柔軟剤が固まってしまう場合があります)
●運転終了後に柔軟剤投入口内に水が残りますが、異常ではありません。

●香りの強い柔軟剤、粘性の高いものは、においが気になる場合があります。
次のことをお試しください。
・柔軟剤の使用量を減らしてください。
・香りの強い柔軟剤以外をお試しください。
・｢槽洗浄｣コースで、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.70)**

洗濯・脱水槽に直接入れて使えるもの

●粉末石けん(天然油脂)→**(P.23)**
●ジェルボール型洗剤
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤
※よく溶かしてから入れてください。
●ビーズ仕上剤
●洗濯のり→**(P.25)**

洗濯機では使えないもの

●重曹
故障の原因になります。

漂白剤の種類

使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、ブライトSTRONGなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載されている注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

黒ずみ・黄ばみの原因

- **洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。**
- **柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。**

黒ずみ、黄ばみを予防したいとき、落としたいときは[温水つけおき+]の設定をおすすめします。**→(P.49～51)**
また、下記についてもお試しください。

・３倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

【ご注意】
洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや取扱絵表示などを確認してください。
状態によっては元どおりに直せない場合があります。

石けん(天然油脂)の入れかた

天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次の方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れないでください。

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 電源を入れる

2

[洗濯]を押し、「標準」コースを選ぶ

[水量] [洗い] [すすぎ] [脱水]を押し、水量「22L」、洗い「5分」を設定する

すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。

3

1 スタートボタンを押し、運転する
2 給水後、かくはんが始まったら、一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する
3 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、スタートボタンを押し、運転を再開する
4 運転終了後、洗濯物を入れる
5 コースを選ぶ
6 スタートボタンを押し、運転する
(洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります)

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた　つづき

バケツなどで溶かす

1 **バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する**

2 **ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす**

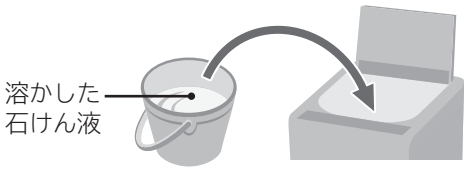
石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。



3 **洗濯物を入れ、コースを選ぶ**

4 **スタートボタンを押し、運転する**

5 **溶かした石けん液を、洗濯・脱水槽に直接入れ、運転を続ける**



次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき
洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」コースや「つけおきプラス」を設定したとき
これらのコースでは、つけおき洗いを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

●AIお洗濯、温水「90分」、温水「180分」を設定したとき
あらかじめ水が入っていると、AIお洗濯、温水「90分」、温水「180分」は作動しません。

●使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、溶けない石けんかすが洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。
すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や乾燥後に変色することがあります。
●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.70)**
●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかすの発生を抑えることができます。
●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

- ●上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
  成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載されている洗濯のりは使用しないでください。
  十分なのり付けができない場合や本体の故障の原因になることがあります。
- ●のり付けした洗濯物は、乾燥運転をさせないでください。

のり付け運転の手順

のりを溶かす

1. **電源を入れ、[洗濯]を押し、「標準」コースを選ぶ**
2. **[水量] [洗い] [すすぎ] [脱水] を押し、水量「22L」、洗い「5分」を設定する**
   すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。
3. **スタートボタンを押し、運転する**
4. **給水後、かくはんが始まったら、一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する**
5. **洗濯・脱水槽に洗濯のりを直接入れ、スタートボタンを押し、運転を再開する**
   運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

6. **のり付けする洗濯物(3kg以下)を入れる**
   ぬれた洗濯物の量と重さの目安 **→(P.18)**
7. **電源を入れ、[洗濯]を押し、「標準」コースを選ぶ**
8. **[水量] [洗い] [すすぎ] [脱水] を押し、水量「46L」、洗い「5分」、脱水「1分」を設定する**
   すすぎ「なし(表示を消す)」を設定します。
9. **スタートボタンを押し、運転する**
10. **運転終了後、洗濯物を取り出す**

洗濯・脱水槽をすすぐ

短い時間ですすぎたいとき

11. **電源を入れ、[洗濯]を押し、「標準」コースを選ぶ**
    洗剤、洗濯物は入れないでください。
12. **[水量]を押し、「62L」を設定する**
13. **スタートボタンを押し、運転する**

念入りにすすぎたいとき

11. **電源を入れ、[洗濯]を押し、「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶ→(P.70)**
    洗剤、洗濯物は入れないでください。
12. **スタートボタンを押し、運転する**

風呂水を使う(お湯取運転)

洗濯運転時の行程ごとに、使用する水を、風呂水と水道水から選ぶことができます。

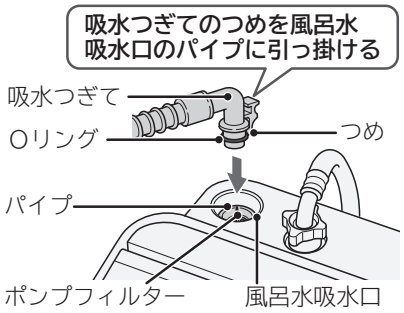
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた

お湯取運転をするときは、付属品のお湯取ホースとクリーンフィルターを取り付けてください。

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

- ●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- ●Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- ●風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。



3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

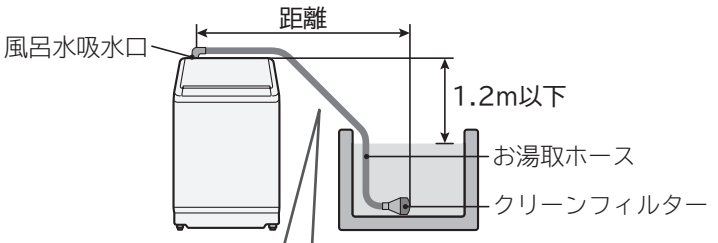
お湯取ホースの長さ調節

お湯取ホースの先端を浴槽に入れ、お湯取ホースの長さを調節する

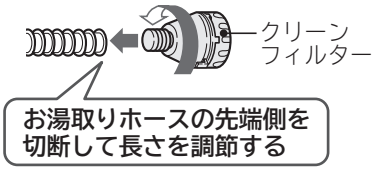
付属品のお湯取ホースは約4mです。付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売り部品のお湯取ホースをお買い求めください。

お湯取ホースにクリーンフィルターを回しながら取り付ける

お湯取ホースの内側を水でぬらすと差し込みやすくなります。



吸水中は、水の重さによりお湯取ホースが垂れ下がり、クリーンフィルターが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。
お湯取ホースが長過ぎるときは、お湯取ホースの先端側を、はさみやカッターで切断してください。



別売り部品の場合 →(P.86)

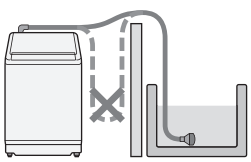
お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約4m	3m以内

- ●約7mホース(クリーンフィルターなし)
  部品番号 NW-7P5-045
- ●約4mホース(クリーンフィルターなし)
  部品番号 NW-7P5-057

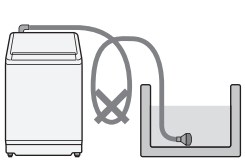
お湯取ホース使用時のご注意

お湯取運転を始める前に、お湯取ホースが正しく取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けられていないと、風呂水が吸水されなくなり、水漏れの原因になります。

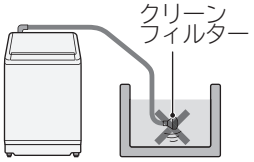
高い壁を越えるときは、たるみをなくす



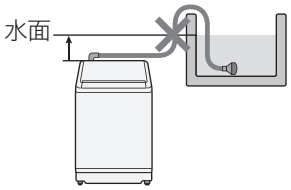
お湯取ホースは巻いたまま使わない



クリーンフィルターが浮き上がらないようにする



風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない



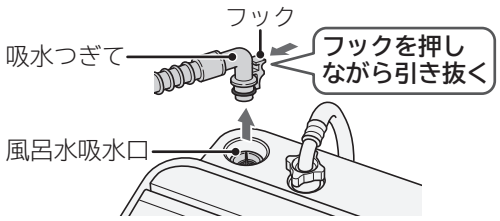
お湯取ホースの取り外しかた

お湯取ホースを使用しないときは、本体から取り外しておくことをおすすめします。

1 浴槽からクリーンフィルターを取り出す

2 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたまま、お湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



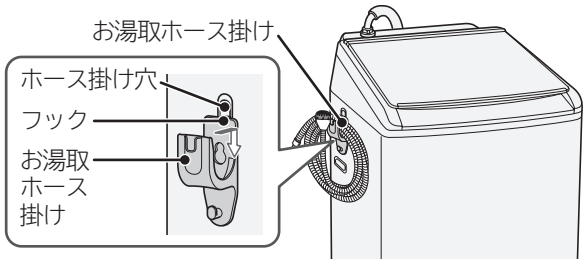
3 風呂水吸水口のキャップを取り付ける

4 クリーンフィルター部を上向きにして、お湯取ホース掛けにかける

お湯取ホースやクリーンフィルター内の残水は排水してください。床面をぬらすおそれがあります。

お湯取ホース掛けの使いかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて、止まるまで押し下げてください。
本体の左右どちらでも取り付けられます。

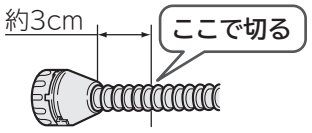


クリーンフィルターの取り外しかた

クリーンフィルターは、一度取り付けると手で簡単に外せません。
お湯取ホースの長さ調節のために、クリーンフィルターを取り外すときは、次の手順に従ってください。

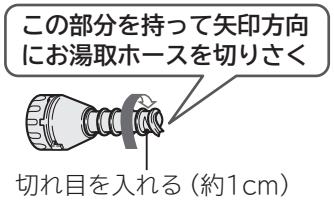
1 お湯取ホースを切断する

クリーンフィルターの根元から約3cmの所でお湯取ホースを切断します。



2 クリーンフィルターに付いているお湯取ホースを取り除く

お湯取ホースの先端に約１cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらお湯取ホースを取り除きます。



風呂水を使う(お湯取運転) つづき

お湯取運転の設定

お湯取運転をするときも、水栓(蛇口)を開けてください。風呂水ポンプの吸い上げ運転の際、一定量の水(呼び水)の給水が必要になるため、お湯取運転時にも水道水が使われます。

1 水栓(蛇口)を開け、電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 を押し、コースを選ぶ

「デリケート」「おしゃれ着」コース、乾燥運転では、お湯取運転の設定ができません。

3 お湯取 を押し、お湯取運転したい行程の表示を点灯させる

押すごとに表示が切り替わります。

清水すすぎを設定する→(P.29)

次のようなお湯取運転の設定はできません。
- 洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
- 「ナイアガラすすぎ」のすすぎ行程
- 「シワ低減洗濯」コースのすすぎ2行程

パネルの表示	行程内容
洗い すすぎ1 すすぎ2 全点灯	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」「すすぎ1」点灯	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」のみ点灯	「洗い」のみ風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 全消灯	風呂水吸水(お湯取)しません。

4 スタートボタンを押し、運転する

●設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「お湯取運転の設定を記憶する」に切り替えてください。**→(P.29)**

運転中に変更させる場合

1 洗いやすすぎの給水中に一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する

2 お湯取 を押し、お湯取運転したい行程の表示に変更する

回転シャワーすすぎを運転しているとき、または洗いやすすぎ行程で、設定水量に達してから1分後以降は、お湯取運転の設定はできません。

3 スタートボタンを押し、運転を再開する

お湯取運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。
お湯取運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わり、お湯取の表示がすべて消灯します。

- 「注水すすぎ」を設定した場合は、すすぎ行程で設定水量に達してからは、水道水が給水されます。
- 風呂水ポンプが作動しても、風呂水を吸い上げ始めるまでに1～3分間かかります。
  お湯取ホース内の空気を抜くためです。
- 運転途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約8～24分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
  水道水に切り替わったあとの運転は、すべて水道水が給水されます。
- 発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は使用しないでください。
  吸水されない場合があります。

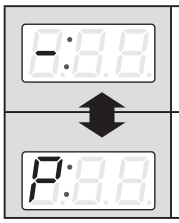
お湯取運転の設定を記憶させる手順

お湯取運転の設定を次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。

1 **電源を入れる**

2 **お湯取 を3秒以上押す**

受付音のあとも押し続けることで、設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
「設定を記憶する」を設定すると、次回電源を入れたときも、お湯取運転の設定になっています。

	**設定を記憶しない (工場出荷時の設定)**	「ピー」音でお知らせします
	設定を記憶する	「ピッ」音でお知らせします

3 **電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

「清水すすぎ」を設定する手順

最後のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転を行います。

1 **電源を入れる**

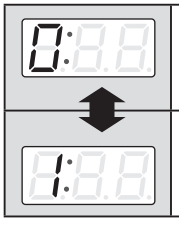
2 **洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ**

3 **洗い すすぎ 脱水 を押し、すべての表示を消す**

洗い「なし(表示を消す)」、すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。

4 **お湯取 を3秒以上押す**

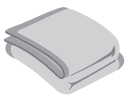
設定完了を表示と音でお知らせします。

	**設定なし (工場出荷時の設定)** (清水すすぎは行いません)	「ピー」音でお知らせします
	設定あり	「ピッ」音でお知らせします

5 **電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●清水すすぎに使用する水道水は約6Lです。ためすすぎにはなりません。
●最終すすぎに水道水を設定した場合は、清水すすぎは行いません。

運転コースの選びかた

洗いかたと洗濯物の種類			コース	洗濯・乾燥できる最大容量		
				洗濯	洗▸乾	乾燥
ふだんの洗濯物を洗濯・乾燥する	・パジャマ ・肌着など		**標準** →(P.32)	**8**kg	**4.5**kg	**4.5**kg
軽い汚れを短時間に洗濯・乾燥する	・パジャマ ・肌着など		**おいそぎ** →(P.32)	**4**kg	**2**kg	–
自分でコースを造る	・ふだんの洗濯物		**手造り** →(P.33)	**8**kg	**4.5**kg	–
洗濯時のシワを抑える	・シャツ ・パジャマ ・肌着など		**シワ低減洗濯** →(P.34)	**4.5**kg	–	–
表示のあるデリケートな衣類を弱水流で洗う	・ランジェリー ・ストッキングなど		**デリケート** →(P.35)	**3**kg	–	–
Ⓟ表示のある衣類を形くずれを抑えながら洗う	・スカート ・セーターなど		**おしゃれ着** →(P.36)	**3**kg	–	**0.4**kg
毛布や掛け布団などを洗う	・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベットパッドなど		**毛布** →(P.38)	毛布 **4.7**kg 掛け布団 **1.8**kg	毛布 **2.8**kg	–
乾燥時のシワを抑える	・シャツ ・パジャマ ・肌着など		**シワ低減** →(P.42)	–	**1.5**kg	–
低温で乾燥し衣類の縮みを抑える	・靴下 ・カットソーなど		**低温乾燥** →(P.43)	–	**3**kg	**3**kg
温風を吹きつけて、除菌・消臭、ウイルスを抑制する	・スーツ ・ぬいぐるみなど		**除菌清潔プラス** →(P.44)	–	–	**1**kg

「洗▸乾」運転の「おいそぎ」コースは、2kgを超えた衣類を入れると乾きがわるくなります。

組み合わせ可能な機能(運転内容)

AIお洗濯	洗いかたに関する機能						そのほかの機能		
AIお洗濯設定時 →(P.46)		つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)		温風ほぐし脱水 →(P.60)	乾き具合 →(P.60)		洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
AIお洗濯解除時	ナイアガラすすぎ →(P.47)	つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)	温水「90/180分」 →(P.50)	温風ほぐし脱水 →(P.60)	乾き具合 →(P.60)	風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
		つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)		温風ほぐし脱水 →(P.60)	乾き具合 →(P.60)	風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
	ナイアガラすすぎ →(P.47)	つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)		温風ほぐし脱水 →(P.60)	乾き具合 →(P.60)	風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
		つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)				風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
		つけおきプラス →(P.48)							
		つけおきプラス →(P.48)							
		つけおきプラス →(P.48)					風呂水お湯取運転 →(P.26)		予約 →(P.52)
AIお洗濯設定時 →(P.46)		つけおきプラス →(P.48)						洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
AIお洗濯解除時		つけおきプラス →(P.48)					風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)
	ナイアガラすすぎ →(P.47)	つけおきプラス →(P.48)	温水「温め自動」 →(P.49)			乾き具合 →(P.60)	風呂水お湯取運転 →(P.26)	洗濯槽自動おそうじ →(P.47)	予約 →(P.52)

AIお洗濯設定時 AIが洗いかたや時間を自動で判断して運転します。

ナイアガラすすぎ たっぷりの水を使ってすすぎ、高速脱水を行い、洗剤を落とします。いつも以上にしっかりすすぎたいときにおすすめです。

つけおきプラス つけおきの手間を減らし、洗い運転中に30分つけおき動作をします。
温水「90/180分」とは、同時に設定できません。

温水「温め自動」 温風を洗濯物と水に吹きつけて水を温めます。温水で洗剤の酵素パワーを引き出し、汚れを落としやすくします。水温約13℃以下の場合に、自動で温水にします。

温水「90/180分」 温風を洗濯物と水に吹きつけて水を温めます。温水で洗剤の酵素パワーを引き出し、黄ばみを予防・除去します。作動時間は90分と180分が選べます。

標準コース・おいそぎコース

ふだんの洗濯物を洗濯のみ、洗濯～乾燥までを行うコースです。
軽い汚れを短時間に洗濯・乾燥したいとき、「おいそぎ」コースをおすすめします。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)
コースによって洗濯・乾燥できる最大容量が異なります。→(P.30)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　**2** 洗濯物を入れる　**3** 電源を入れる

2

洗濯 または 洗・乾 を押し、「標準」または「おいそぎ」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3

1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 内ふた、ふたを閉める　**3** 運転終了後、洗濯物を取り出す　**4** お手入れをする

手造りコース(自分でコースを造る)

お好みの運転内容を、変更して記憶させることができます。
工場出荷時の初期設定は、洗濯「標準」コースが設定されています。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　**2** 洗濯物を入れる　**3** 電源を入れる

2

洗濯 または 洗・乾 を押し、「手造り」コースを選ぶ

温水つけおき+ 水量 洗い すすぎ 脱水 乾燥 を押し、お好みの運転内容を設定する

→(P.54～57)

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

3

1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 内ふた、ふたを閉める　**3** 運転終了後、洗濯物を取り出す　**4** お手入れをする

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

シワ低減洗濯コース

衣類の絡みを減らし、シワを抑えて洗うコースです。

容量　**4.5kg以下**

●4.5kgを超えた洗濯物を入れて運転するとお知らせ表示「C19」が表示されます。
一時停止ボタンを押して、洗濯物の量を減らしてください。
あらかじめ水が入っている場合は、「C02」が表示されます。排水してください。**→(P.72)**
●洗濯物の種類や大きさ、布質などにより計測した量が異なるため、容量は目安となります。

きれいに仕上げるポイント

●一度に洗濯する量を減らす。3kg以下にすると最も仕上がりが良くなります。
●タオルなどの長尺の衣類を少なめにする。(洗濯物のからまりを防ぐためです)
●運転終了後、洗濯物をすぐに取り出す。(衣類が放置されて水分が少なくなると、シワが強くなります)
●柔軟剤を使用すると、仕上がりやにおいに対してより効果的です。
●化繊よりも綿素材の衣類の方が、洗濯標準コースに対して仕上がりが良くなります。

運転動作

洗い
かくはん翼の回転・反転水流で洗います。
▶
すすぎ(ためすすぎ)
水をためてすすぎます。
▶
排水・脱水
排水して、脱水します。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

洗濯 を押し、「シワ低減洗濯」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3

1 スタートボタンを押す

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

●運転スタート後は、「洗い」時間を変更することはできません。
●「洗濯槽自動おそうじ」や洗い時間を15分に設定すると、仕上がりがわるくなる場合があります。
●洗濯のみのコースで乾燥は行いません。
●ためすすぎを2回行うため、洗濯標準コースよりも使用水量が多くなります。
●洗濯標準コースに対して、脱水回転数を低くしているため、少し湿った状態で終了します。
(仕上がりを良くするためです)
そのため、衣類によっては部屋干しの時間が延びる場合があります。

デリケートコース

水をたっぷり使い、弱水流で衣類を泳がせるように洗うコースです。

30 表示のデリケートな衣類は、「デリケート」コース以外で運転すると洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの

取扱絵表示 30

上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→ **(P.16)**

容量・水量 **洗濯物の量と水量の目安に合わせた水量を設定してください。**

洗濯物の量	設定水量
3kg以下	62、52L
1kg以下	46L
0.5kg以下	38L
0.3kg以下	22L

使用する洗剤 **液体中性洗剤または液体合成洗剤**

使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。
液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

運転動作

洗い
かくはん翼の回転による洗濯・脱水槽の回転・反転水流で洗います。

▶ **すすぎ(ためすすぎ)**
水をためて、槽反転します。

▶ **排水・脱水**
排水して、脱水します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

1 **1 水栓(蛇口)を開ける** **2 洗濯物を入れる** **3 電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、「デリケート」コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

洗い・すすぎ・脱水のみなどの個別運転を設定することもできます。
洗濯物の量は自動計測されないため、洗濯物の量と水量の目安に合わせた水量を設定してください。
水量を設定しない場合は、初期表示の水量「52L」となります。

3 **1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる**

水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。

2 内ふた、ふたを閉める **3 運転終了後、洗濯物を取り出す** **4 お手入れをする**

おしゃれ着コース

遠心力による押し洗いで、衣類に水を通過させ、形くずれを抑えながら洗うコースです。
また、「脱水」のみも設定できます。(低速で回転する脱水を行います)

Ⓟ表示の衣類は、「おしゃれ着」コース以外で運転すると洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの	洗濯できないもの
取扱絵表示 Ⓟ Ⓟ 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。 **→(P.16)** ウール、カシミアなどのセーター、カーディガン類 スーツ、ジャケット(ウォッシャブル)、スラックス、スカート、学生服類 ブラウス、ワンピース、シャツ、ランジェリー類  **容量・水量** **洗濯物の量と水量の目安に合わせた水量を設定してください。** **使用する洗剤** **おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)** おしゃれ着用洗剤以外は使用しないでください。 粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。	**取扱絵表示** Ⓕ Ⓕ 表示のものは、洗濯機で洗濯できません。

洗濯物の量	設定水量
3kg以下	62L
2kg以下	52L、46L
1kg以下	38L
0.4kg以下	22L

●お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。
●おしゃれ着コースで洗濯できるもの以外は洗わないでください。
脱水中に振動が大きくなり、運転が止まる場合があります。
●衣類の形くずれを抑える目的で脱水を弱めにしているため、セーターなど水を含みにくい衣類では、脱水ムラが生じる場合があります。

乾燥できるもの	乾燥できないもの
取扱絵表示 **または** Ⓟ Ⓟ **と** **の組み合わせ** 取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニング店にご相談ください。 **容量** **0.4kg以下** **1枚のみ**	**取扱絵表示** 表示のものは、洗濯機で乾燥できません。

運転動作

洗い ▶ **すすぎ(ためすすぎ)** ▶ **排水・脱水**

かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流と休止を繰り返して段階的に給水しながら洗います。

排水・脱水し、給水後、洗濯・脱水槽が回転し、つけおきのため休止(約1分)します。

排水して、弱めに脱水します。

乾燥(「乾燥」運転の場合のみ)
低めの温度で乾燥します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

1 **1水栓(蛇口)を開ける　2洗濯物を入れる　3内ふた、ふたを閉める　4電源を入れる**

2 洗濯 または 乾燥 を押し、「おしゃれ着」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

洗い時間は「19分(表示は15分)」です。洗い・すすぎ・脱水のみなどの個別運転を設定することもできます。
乾燥時間の変更はできません。

「洗濯」運転の場合

- 洗濯物の量は自動計測されないため、洗濯物の量と水量の目安に合わせた水量を設定してください。→(P.36)
  水量を設定しない場合は、初期表示の水量「62L」となります。
- 低速で回転する脱水を行うため、干すときに洗濯物から水が垂れるおそれがあります。
  気になる場合は、脱水時間を変更してください。

3 **1スタートボタンを押し、(「洗濯」運転時)表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる**

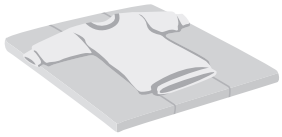
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)は、おしゃれ着用洗剤をご覧ください。→(P.20)
「乾燥」運転のみの場合は、内ふた、ふたを閉めたままにしてください。

2運転終了後、洗濯物を取り出す　3お手入れをする

衣類の干しかた

シャツやスラックスなどは、シワを伸ばし形を整えてハンガーにかけて干してください。
ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせてご使用ください。

ニットなどは、形を整えて平干ししてください。
平干し用のネットや木製以外の風呂のふたなどを使って平干しにすると
形くずれが防げます。



衣類が縮んだとき

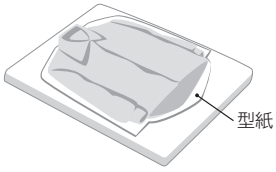
素材、織りかた、厚さ、形態によって水につけるだけで縮むものもあります。
取扱絵表示、素材表示を確認してください。

縮みや形くずれの直しかた
ウールは縮みやすい衣類です。もし縮んだ場合は、次の方法である程度元のサイズに戻ることがあります。
洗濯後、縮んでしまったときのために元の形に修正するための型紙を取っておくと便利です。

スチームアイロンを軽く浮かせて
スチームをかけ形を整えます。



スチームをたっぷりあてたあと、
洗濯前に取っておいた型紙に合わせ
て元の形に伸ばし、形を整えます。



毛布コース

毛布など大物の洗濯物を、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で傷みにくく洗うコースです。
洗濯運転中に洗濯物が浮いてしまうことを防ぐため、別売り部品のお洗濯キャップが必要になる場合があります。
取扱絵表示のないもの、防水性のものは洗わないでください。

「洗▸乾」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

別売り部品のお洗濯キャップを使用するときの目安を確認する

毛布（乾燥は使用できません）

容量	お洗濯キャップ
［洗濯］2.8～4.7kg	**使用する**
［洗濯］2.8kg以下	**必要に応じて使用する**
［洗濯～乾燥］2.8kg以下	**使用できない**

掛け布団（洗濯～乾燥および乾燥は使用できません）

容量	お洗濯キャップ
［洗濯］1.8kg	**使用する**

2.8kg以下でも水に浮きやすい素材や軽いベットパット、カーテンなどは、お洗濯キャップを使用してください。

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。
その場合は、保証の対象外になります。（洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります）

洗濯できるもの、乾燥できるもの

取扱絵表示 または があるもの

使用する洗剤 **液体合成洗剤または液体中性洗剤**

使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。
液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

毛布(乾燥のみはできません)

素材 **化繊**（ポリエステル、アクリル）**または綿**

容量 **［洗濯］4.7kg以下**
ダブルサイズ：1枚まで
シングルサイズ：3枚まで
［洗濯～乾燥］2.8kg以下
ダブルサイズ：1枚まで
シングルサイズ：1枚まで
※サイズの目安
ダブルサイズ：幅180cm×長さ210cm
シングルサイズ：幅140cm×長さ210cm

掛け布団(洗濯～乾燥および乾燥はできません)

素材 **詰め物素材が化繊（ポリエステル）または羽毛**

容量 **［洗濯］1.8kg以下**
(詰め物素材が化繊の場合)
ダブルサイズ：1枚まで
シングルサイズ：2枚まで
［洗濯］1.4kg以下
(詰め物素材が羽毛の場合)
ダブルサイズ：1枚まで
シングルサイズ：2枚まで
※サイズの目安
ダブルサイズ：幅190cm×長さ210cm
シングルサイズ：幅150cm×長さ210cm

洗濯できないもの、乾燥できないもの

毛布

素材
- **羊毛**（ウール）**やカシミヤ素材のもの**
- **電気毛布**
  洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。
- **異なる素材・大きさのもの**
  (2枚以上の場合)

掛け布団

素材
- **詰め物素材が羊毛**（ウール）**のもの**
- **詰め物素材がポリエステル100%のもの**は乾燥はできません。
- **カバー素材が絹のもの**
- **カバー素材が防水性のもの**

運転動作

洗い	すすぎ (注水すすぎ)	排水・脱水	乾燥 (「洗▸乾」運転の場合のみ)
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流と休止を繰り返して洗います。(約25分間)	排水・脱水し、給水(注水)しながら洗濯・脱水槽が回転します。	排水して、脱水します。	洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

毛布コースは、傷みを防ぎながら洗うため、運転動作が停止しているように見える場合があります。

手順

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 **洗濯 または 洗・乾 を押し、「毛布」コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3 **1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる**

洗濯物の量は、自動計測されません。水量を設定しない場合は、初期表示の水量「62L」となります。
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

●掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗り、もみ洗いなどして汚れを落としてください。
●「洗▸乾」運転終了後、乾きムラがあるときは、毛布の湿っている部分が外側になるように折り直し、乾燥「おしゃれ着」コースで再度乾燥させてください。

⚠注意

禁止

異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)
●毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れないでください。
折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。



毛布コース　つづき

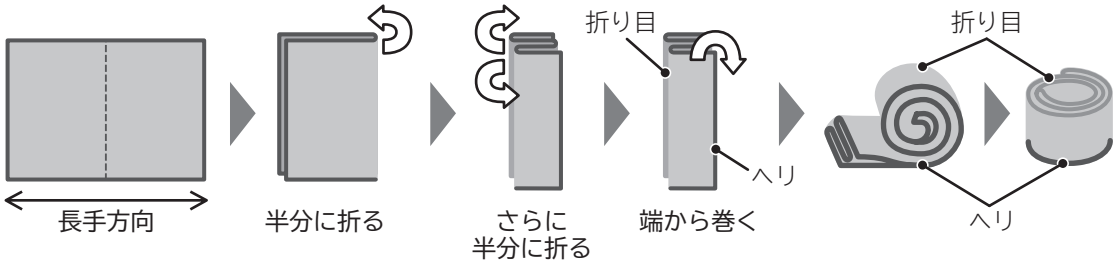
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた

お洗濯キャップを使用しないときの毛布・掛け布団の入れかた

毛布(2.8kg以下)を「洗▸乾」運転する場合は、お洗濯キャップは使用しないでください。

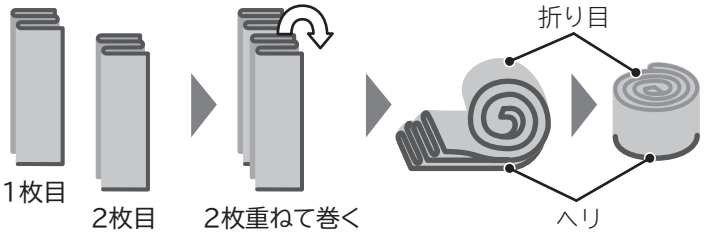
折りかた

1枚の場合



2枚の場合

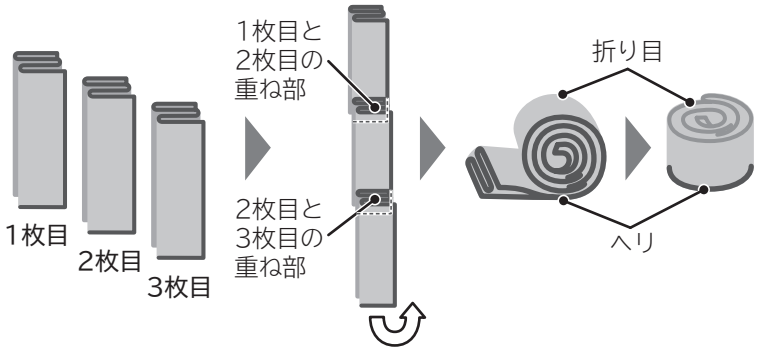
1枚の折りかたと同様に折り、2枚重ねて巻く
毛布の種類・厚さによっては入れられない場合があります。



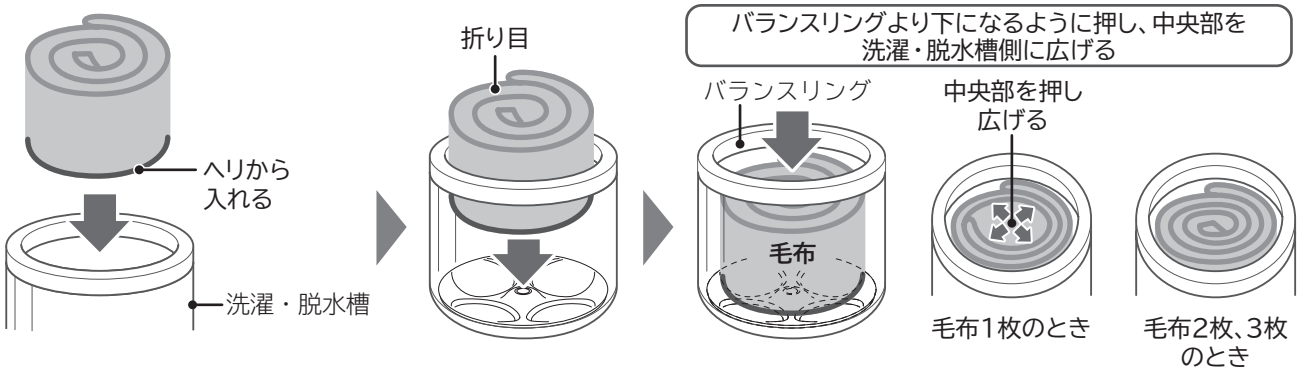
3枚の場合

薄手の毛布
(1.5kg×3枚)

1枚の折りかたと同様に折り、一部を重ねて巻く
毛布の種類・厚さによっては入れられない場合があります。



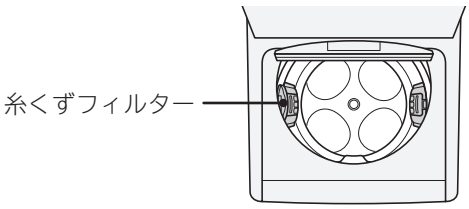
入れかた



毛布のヘリを下にして洗濯・脱水槽に入れないと、運転中に毛布を傷める場合があります。

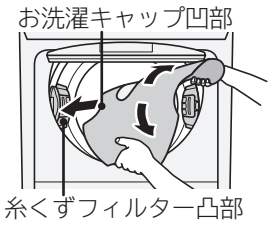
別売り部品のお洗濯キャップの取り付けかた・取り外しかた

1 **洗濯・脱水槽を回転させ、製品に対し糸くずフィルターを横の位置にする**



2

【取り付けかた】
お洗濯キャップの凹部を中心に折り曲げ、糸くずフィルターの凸部を合わせて入れる
(お洗濯キャップの文字面を上にして入れてください)



【取り外しかた】
お洗濯キャップの端(糸くずフィルター側)を下に押し込み、中央リング部を持って引き出す



お洗濯キャップの位置は、下図を参考に入れてください。

バランスリングのすぐ下まで引き上げる



●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、指や腕を挟まないよう注意してください。
●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、お洗濯キャップが洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)や糸くずフィルターに当たらないように注意してください。
洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)や糸くずフィルターが外れたり、破損したりするおそれがあります。

毛布・掛け布団の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。

●毛布　：湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
●掛け布団　：時々裏返すと乾きやすくなります。
また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団：詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。
●カーテン　：レールにかけて形を整えて干すと、シワが伸びてきれいに仕上がります。
カーテンから水滴が垂れる場合は、床にタオルなどを敷いてください。

シワ低減コース

乾燥時のシワを抑えてきれいに仕上げます。

容量 **1.5kg以下**

●1.5kgを超えた洗濯物を入れて運転するとお知らせ表示「C19」が表示されます。
一時停止ボタンを押して、洗濯物の量を減らしてください。
あらかじめ水が入っている場合は、「C02」が表示されます。排水してください。→**(P.72)**
●洗濯物の種類や大きさ、布質などにより計測した量が異なるため、容量は目安となります。

きれいに仕上げるポイント

●一度に乾燥する量を減らす。
●形態安定加工などシワ防止加工のあるものを使う。
●薄手の洗濯物は厚手の洗濯物と分けて乾燥する。
●ひもは結んでから乾燥する。ワイシャツやパジャマなど、からまりやすいものを少なめにする。
(洗濯物のからまりを防ぐためです)
●ネットに入れたまま乾燥しない。
●運転終了後、洗濯物をすぐに取り出す。(衣類が放置され冷めてしまうと、折り目がシワになりやすくなります)
●衣類の量や素材、一緒に乾燥するものの種類によって仕上がりが異なります。
→シワになりやすい衣類は、洗乾の「標準」コースで乾燥の「30分」を運転後、生乾き状態で取り出し吊り干しをおすすめします。

運転動作

洗い	すすぎ (シャワーすすぎ)	すすぎ (ためすすぎ)	排水・脱水	乾燥
かくはん翼の回転・反転水流で洗います。	シャワーをかけながらすすぎ、同時に排水します。	水をためてすすぎます。	排水して、脱水します。	高速風で乾燥します。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 洗・乾 **を押し、「シワ低減」コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3 **1 スタートボタンを押す**

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

●運転スタート後は、「洗い」時間を変更することはできません。
●マフラーやバスタオルなどの長尺の製品や、厚手のズボンなどは一緒に乾燥すると、シワがつきやすくなります。

低温乾燥コース

低温で乾燥し、縮みを抑えてやさしく仕上げます。

容量　3kg以下

衣類の縮みについて

●縮みの程度は生地の種類や織りかた、縫製、仕上げなどによっても異なります。
　縮みやすい衣類の例：靴下やカットソーなどウレタン素材が含まれているもの
●衣類は水につけたり、洗濯して乾かすだけでも縮むものがありますが、乾燥を行うとさらに
　縮みが大きくなるものもあります。

乾きムラを少なくするには

綿素材の衣類を乾燥する場合、乾きムラになる場合があります。
綿素材の衣類は、乾燥「標準」コースで乾燥してください。

運転動作

「洗▸乾」運転の場合

洗い	すすぎ (シャワーすすぎ)	すすぎ (ためすすぎ)	排水・脱水	乾燥
かくはん翼の回転・反転水流で洗います。	シャワーをかけながらすすぎ、同時に排水します。	水をためてすすぎます。	排水して、脱水します。	低めの温度で乾燥します。

「乾燥」運転の場合

乾燥
低めの温度で乾燥します。

●衣類温度約65℃以下の低温で乾燥します。
●「標準」コースよりも運転時間が長くなります。

手順

洗濯物の確認と準備→(P.16)

1 **1**水栓(蛇口)を開ける　**2**洗濯物を入れる　**3**内ふた、ふたを閉める　**4**電源を入れる

2 洗▸乾 または 乾燥 を押し、「低温乾燥」コースを選ぶ

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3 **1**スタートボタンを押し、(「洗▸乾」運転時)表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。
「乾燥」運転のみの場合は、内ふた、ふたを閉めたままにしてください。

2運転終了後、洗濯物を取り出す　**3**お手入れをする

除菌清潔プラスコース

水で洗えないものも除菌・消臭、ウイルスを抑制して清潔に仕上げます。

乾燥できるもの	乾燥できないもの
素材 ●アクリル製品(強撚糸以外) ●スーツやスラックスなど ●帽子やかばん(皮革、毛皮製品以外) ●ぬいぐるみ(詰め物にウレタンを使用していない製品) ●靴やスリッパ **容量** **1kg以下**	**素材** ●ゴムやウレタンなどを使用した製品 ●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど ●布団類などわたを使用した製品 ●ウールなどの獣毛およびその混紡製品 ●レーヨン、キュプラ、それらの混紡製品 ●タイツ ●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品 ●濃い色のプリントもの

・種類によっては運転できないものがあります。商品の取り扱い表示に従ってください。
・除菌清潔コースの温度は約80℃になります。
　熱に弱い素材や接着剤を使用しているものは使用できません。

手順

1 1 水栓(蛇口)を開ける 2 洗濯物を入れる 3 内ふた、ふたを閉める 4 電源を入れる

2 乾燥 を押し、「除菌清潔プラス」コースを選ぶ

3 1 スタートボタンを押す 2 運転終了後、洗濯物を取り出す 3 お手入れをする

乾燥する

乾燥運転の時間を使い分ける

乾燥の仕上がりを良くするための、コースや方法について説明します。

洗濯物の種類	おすすめの乾燥コース
シワがつきにくい洗濯物 ・肌着　・タオル類　・Tシャツ(装飾のないもの) ・トレーナー　など	「標準」コースで「自動」を設定
シワがつきやすい洗濯物 ・綿のシャツ(特に薄手のもの)　・シーツ　・パジャマ ・ハンカチ　・綿ズボン　・ブラウス　など	「標準」コースで「30分」を設定 乾燥終了後、吊り干しをします。
厚手で乾きにくい洗濯物 ・厚手のトレーナー　・バスタオル ・ジーンズ　など	「標準」コースで乾き具合を「しっかり」に設定 **→(P.60)**
縮みが気になる洗濯物 ・靴下 ・カットソー　など	「低温乾燥」コースを設定 **→(P.43)**

漂白剤などを使用した場合

洗濯時、漂白剤などを使用した場合は、においが残らない程度にすすいでから乾燥してください。
洗濯物に漂白剤などが残ったまま乾燥すると、本体の寿命を縮めたり、洗濯物を傷めたりします。

乾燥のみを行うときの手順(洗濯は行いません)

水を使って冷却・除湿します。水栓(蛇口)が閉まっていると乾燥できません。

1 1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 内ふた、ふたを閉める　4 電源を入れる

2 乾燥 を押し、「標準」コースを選ぶ

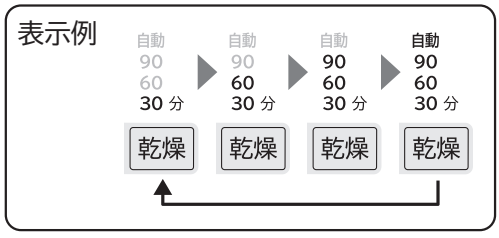
洗濯物が乾くまで1時間以上運転されます。
乾き具合を調節する→(P.60)

時間を変更する場合

乾燥 を押し、「標準」コースを選ぶ

乾燥 を押し、30/60/90分から時間を選ぶ

「標準」コースのみ時間を変更することができます。



3 1 スタートボタンを押す　2 運転終了後、洗濯物を取り出す　3 お手入れをする

AIお洗濯を使う

複数のセンサーで洗濯のさまざまな状況をセンシングして、洗剤の種類や布質、汚れの量、水の硬度などの状況に合わせて洗いかたや運転時間などを自動で制御します。

運転動作

センシング 洗剤溶かし
(水の硬度・水温・布量・洗剤の種類(粉末/液体)を検知)
▶ **洗い**
(汚れ具合・布質を検知)
▶ **すすぎ (ためすすぎ)**
(すすぎ具合を検知)
▶ **脱水**
(脱水具合を検知)
▶ **乾燥 (「洗▸乾」運転の場合のみ)**
洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

AIお洗濯で、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が長くなります。
(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)

作動しない場合（その回の運転のみ自動で解除されます）

- 「標準」コースを設定しても、運転内容を変更した場合。
  また、「お湯取運転」、温水「90分」または温水「180分」、「ナイアガラすすぎ」を設定した場合。
- 洗濯・脱水槽内に約3L以上の水が入った状態で運転を開始した場合。
- 洗濯途中で行程を変更した場合。

AIお洗濯時の条件

洗剤量表示、または運転時間が変化しない(減らない)場合があります。

- 洗剤量(目安)表示が0.3杯の場合
- お住まいの地域(水の硬度や水温)、使用条件(洗剤の種類や投入量、汚れの種類や量)によっては、変化しないことがあります。
- 泡の発生によっては、汚れの落ち具合が検知できない場合があります。
  (洗剤によっては、泡が発生しやすいものもあります)

手順

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 **洗濯 を押し、「標準」コース、または 洗▸乾 を押し、「標準」「シワ低減」コースのいずれかを選ぶ**
AI を押し、AIお洗濯を設定する

設定内容によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。

表示例

AI お洗濯設定あり	AI お洗濯設定なし (工場出荷時の設定)
点灯→ AI	消灯→ AI
AI 自動おそうじ(3秒押し) ↔	AI 自動おそうじ(3秒押し)

3 **1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる**

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

洗濯槽自動おそうじを使う

洗濯・脱水槽の裏側などの見えない部分に付着しやすい汚れなどを、水道水を使用して自動で洗い流します。よりきれいに洗濯をするために、洗濯槽自動おそうじの設定や「槽洗浄」コースを併用することをおすすめします。→(P.70)

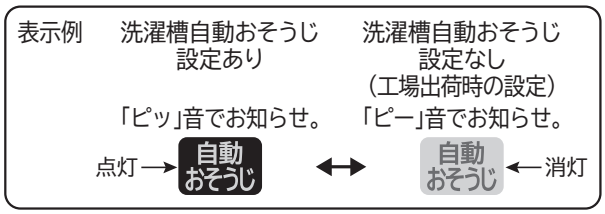
手順

1 電源を入れる

2 AI を3秒以上押す

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

受付音のあとも押し続けることで、設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
一度の設定で、毎回作動します。



3 電源を切る

- 変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
- 「洗濯槽自動おそうじ」は、洗濯運転中に自動で作動します。単独で作動させることはできません。
- 手動で「脱水」のみ、脱水「1分」、または「脱水」なし(表示を消す)を設定した場合は、「洗濯槽自動おそうじ」は自動で解除(消灯)されます。
- 「洗濯槽自動おそうじ」を設定すると、運転時間と使用水量が増えます。

ナイアガラすすぎを使う

洗剤を残さないように徹底的にすすぎます。
大流量の循環シャワーと高速回転で、繊維の奥の洗剤まで落とします。

手順

1 1水栓(蛇口)を開ける 2洗濯物を入れる 3電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 を押し、「標準」「手造り」「低温乾燥」からお好みのコースを選ぶ

すすぎ を押し、ナイアガラすすぎを設定する

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

洗濯「標準」コースの場合

洗い と 脱水 をそれぞれ押して再設定する

すすぎは自動で「2回」が設定されます。

3 1スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。

2内ふた、ふたを閉める 3運転終了後、洗濯物を取り出す 4お手入れをする

- 運転終了後、「ナイアガラすすぎ」の設定は自動で解除されます。運転のたびに設定してください。
  「手造り」コースの場合は、設定が記憶されます。
- 「ナイアガラすすぎ」を設定すると、すすぎの運転動作が変わるため、運転時間と使用水量が増えます。

つけおき つけおきプラスを使う

お好みのコースと組み合わせて、洗い運転中につけおき洗いをすることができます。

行程内容

設定内容	パネルの残時間表示部とボタンの表示	行程内容	容量		おすすめ洗剤
			洗濯	洗▸乾	
つけおきプラス	0:30 分 温水 つけおき+	洗い運転中につけおき動作をします。 30分間作動させる	設定したコースにより異なります。 運転コースの選びかた →(P.30)		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤、漂白剤

漂白剤を使用する場合は、容器に記載されている注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。→(P.23)

運転動作

洗い
各コースに適した水位やタイミングでかくはん翼や槽の回転と休止(15秒～30秒)を繰り返してつけおきを行います。
つけおきプラス30分の場合：約30分

▶ すすぎ ▶ 排水・脱水 ▶

乾燥
(「洗▸乾」運転の場合のみ)
洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

つけおきプラス作動中は「つけおき＋」が点滅し、つけおき動作終了後に消灯します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

1 **1** 水栓(蛇口)を開ける **2** 洗濯物を入れる **3** 電源を入れる

2

洗濯 または 洗▸乾 を押し、お好みのコースを選ぶ

温水 つけおき+ を押し、つけおきプラス「30分」を設定する

押すごとに表示が切り替わります。
組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

表示例

残時間表示部の表示	つけおきプラス「30分」 0:30 分 ▶ 温水「90分」 1:30 分 ▶ 温水「180分」 3:00 分 ▶ 表示なし
「温め自動」設定なし	温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯
「温め自動」設定あり	温水 つけおき+ ←点灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←点灯

●「洗い」設定なしの場合、「つけおきプラス」、温水「温め自動」、温水「90分」、温水「180分」は設定できません。
●つけおきプラス設定時、洗い開始後「洗い」時間を変更することはできません。
●変更した内容は記憶されません。お洗濯のたびに設定してください。

3 **1** スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める **3** 運転終了後、洗濯物を取り出す **4** お手入れをする

温水 ナイアガラビート洗浄を使う

温風を洗濯物と水に吹きつけて水を温めます。温水にすることで、洗剤の酵素パワーを引き出し、黄ばみの原因となる皮脂汚れを洗い流します。

温水「温め自動」

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容	容量		おすすめ洗剤
			洗濯	洗▸乾	
温水「温め自動」(3秒押し)		汚れを落としやすくします。 水温約13℃以下の場合に自動で温風を16分間吹きつけて温水にする	8kg以下	4.5kg以下	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤

運転動作

洗剤液を洗濯物にかけて染み込ませます。 ▶ かくはん翼を回転させながら、温風を洗濯物と水に吹きつけ、回転と休止を繰り返します。
温め自動の場合：約16分 ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 排水・脱水 ▶ **乾燥(「洗▸乾」運転の場合のみ)**
洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

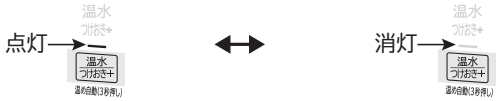
1 1 水栓(蛇口)を開ける 2 洗濯物を入れる 3 電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 を押し、「標準」コースを選ぶ

温水 つけおき+ を3秒以上押す

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

表示例　温め自動設定あり「ピッ」音でお知らせ。　温め自動設定なし(工場出荷時の設定)「ピー」音でお知らせ。



- ●温水「温め自動」設定時、「つけおきプラス」も同時に設定できます。
- ●温水「温め自動」設定時、温水「90分」、温水「180分」と同時に設定できません。
- ●変更した内容は記憶されます。

3 1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める 3 運転終了後、洗濯物を取り出す 4 お手入れをする

- ●温水「温め自動」が設定されている場合、水温が約13℃以下の時は、通常運転より運転時間が長くなります。
- ●温水「温め自動」は「手造り」コースに登録していても、「標準」コースで「温め自動」が設定されていないと「温め自動」は設定されません。

温水 ナイアガラビート洗浄を使う　つづき

温水「90分」・温水「180分」

設定内容	パネルの残時間表示部とボタンの表示	効果と行程内容	容量		おすすめ洗剤
			洗濯	洗▸乾	
温水「90分」		**黄ばみを予防します。** 運転時間を90分追加し、温風を吹き付け衣類温度を上げて洗う	**4kg以下**		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水「180分」		**黄ばみを落とし、においの原因菌も洗い流します。** 運転時間を180分追加し、温風を吹き付け衣類温度を約30～40℃に上げて洗う	**2kg以下**		粉末合成洗剤 (通常の約2倍使用)

すべての黄ばみやにおいの原因菌を除去できるわけではありません。

運転動作

洗剤液を洗濯物にかけて染み込ませます。 ▶ かくはん翼を回転させながら、温風を洗濯物と水に吹きつけ、回転と休止を繰り返します。
90分の場合　：約90分
180分の場合　：約180分
▶ **洗い** ▶ **すすぎ** ▶ **排水・脱水** ▶ **乾燥(「洗▸乾」運転の場合のみ)**
洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

●温水作動中は、「温水」が点滅し、動作終了後に消灯します。
●温水作動中に一時停止を押しても、すぐにふたのロックが解除しない場合があります。→**(P.76)**
　また、洗い・すすぎ・脱水などの運転内容を変更することはできません。

●温水「温め自動」または「90分」、「180分」を設定するときは、衣類の取扱絵表示に従ってください。
　・衣類の温度が約40℃まで上がります。取扱絵表示が30℃以下となっている衣類は洗わないでください。
　・手洗い指定や、水洗いができない衣類は洗わないでください。
●衣類を傷めたり、色移りしたりすることがあります。色柄物と白物は分け洗いをしてください。
●衣類の量、汚れ、洗剤の種類によって効果は異なります。

手順

洗濯物の量と重さの目安→(P.18)

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる

2

洗濯 または 洗・乾 を押し、「標準」コースを選ぶ

温水 つけおき+ を押し、温水「90分」を選ぶ

温水「180分」を選ぶときは、もう一度 温水 つけおき+ を押す

押すごとに表示が切り替わります。
組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)

表示例

残時間表示部の表示	つけおきプラス「30分」 0:30 分 ▶ 温水「90分」 1:30 分 ▶ 温水「180分」 3:00 分 ▶ 表示なし
「温め自動」設定なし	温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯
「温め自動」設定あり	温水 つけおき+ ←点灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←消灯 ▶ 温水 つけおき+ ←点灯

●温水「90分」、温水「180分」設定時、温水「温め自動」と同時に設定できません。
●変更した内容は記憶されません。お洗濯のたびに設定してください。

3

1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

●温水「90分」、温水「180分」を設定している場合は、温風で洗濯物と水を温めるため、
・通常運転より、運転時間が約90分間、または約180分間長くなります。
・通常運転より、消費電力量が増えます。
●室温が約8℃以下のときは、運転時間が約20分間長くなります。
●日光などで変色した黄ばみは落ちません。すべての黄ばみが落ちるわけではありません。

予約運転をする

運転を終了したい予定時間を1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

予約ボタンの使いかた(切り替え内容)

予約時間とは、運転終了予定時間です。
「洗濯」運転　：3～24時間後まで設定可能
「洗▸乾」運転：5～24時間後まで設定可能

予約 **を押すごとに設定が切り替わります。**

(長押しすると、予約時間が連続で切り替わります)

表示例　今から5時間後に運転を終了させたい場合



こんなときには

予約内容の確認： 予約 **を押す**
(押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し：電源を切る
(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更　　：電源を切り、初めからやり直す

衣類の追加　　：電源を切らずに、洗濯物を入れる
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると汚れ落ちがわるくなったり、乾きムラの原因になります)
(チャイルドロック設定時などはふたがロックされているため洗濯物を追加することができません)

- ●洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了時間が変わることがあります。
- ●予約運転をするときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- ●洗濯物のシワを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
  洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
- ●予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。
- ●設定した予約時間よりも運転時間が長い場合は、すぐに運転が開始されます。

手順

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

2 **洗濯 または 洗・乾 を押し、コースを選ぶ**

組み合わせ可能な機能(運転内容)→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

予約 を押し、運転終了予定時間を設定する

3 **1 スタートボタンを押し、表示された洗剤量(目安)に従って、洗剤などを入れる**

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
あらかじめ水が入っている場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

2 内ふた、ふたを閉める　3 運転終了後、洗濯物を取り出す　4 お手入れをする

運転内容を表示したあと、予約運転待機状態になり「予約」のみが点灯します。

お願い

ジェルボール型洗剤は使用しないでください。
洗濯・脱水槽などに水分が残っていると、ジェルボールのフィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に触れる可能性があり、長時間経過するとしみになるおそれがあります。

お好みの設定で運転する

水量・洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する

各行程を押すごとに、設定を変更することができます。
コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.56)

ボタン	パネル表示
水量	62 52 46 38 22L ▶ 62 52 46 38 22L ▶ 62 52 46 38 22L ▶ 62 52 46 38 22L ▶ 62 52 46 38 22L ▶ 無表示（洗濯物の量が自動計測されます）
洗い	15 12 8 5 3分 ▶ 15 12 8 5 3分 ▶ 15 12 8 5 3分 ▶ 15 12 8 5 3分 ▶ 15 12 8 5 3分 ▶ 無表示（「洗濯」運転時のみ）
すすぎ	「注水」と「ナイアガラ」が消灯のときは「ためすすぎ」になります。 ナイアガラ 注水 2 1回 ▶ 注水 2 1回 ▶ 注水 2 1回 ▶ 注水 2 1回 ▶ ナイアガラ 2 1回 ▶ 無表示（「洗濯」「洗▶乾」運転） ためすすぎ：水をためて、すすぎます。 注水すすぎ：水をため、給水しながら排水してすすぎます。 ナイアガラすすぎ：たっぷりの水を使ってすすぎ、高速脱水を行い洗剤を落とします。 ●「注水すすぎ」中に給水の圧力が低いと最高水位になるまで時間がかかり、排水動作をしない場合があります。 ●「注水すすぎ」を設定すると、使用水量が増えます。 ●「ナイアガラすすぎ」を設定すると、すすぎの運転動作が変わるため、運転時間と使用水量が増えます。
脱水	9 6 3 1分 ▶ 9 6 3 1分 ▶ 9 6 3 1分 ▶ 9 6 3 1分 ▶ 9 6 3 1分 ▶ 無表示（「洗濯」運転時のみ）
乾燥	自動 90 60 30分 ▶ 自動 90 60 30分 ▶ 自動 90 60 30分 ▶ 自動 90 60 30分 「自動」は洗濯物の乾きを検知して運転します。

水量を手動で変更する

「標準」コースの自動設定の水量は、22～52Lで表示されます。
コースによっては、次の手順で水量を手動で「62L」に設定できます。

1 電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 を押し、コースを選び 水量 を押し、「62L」を設定する

3 スタートボタンを押す

水を足したい場合

●洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。
押し続けている間は給水されます。(各コースの最高水量以上は給水しません)
●おしゃれ着コースでは、洗いやすすぎ中に「水量」ボタンを押しても給水されません。

「脱水」のみなどの個別運転をする

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
設定内容は記憶されないので、よく使う運転内容は「手造り」コースに登録すると便利です。→(P.33)
ここでは、例として「脱水のみ」を行う場合について説明します。

手順

1 **1 水栓(蛇口)を開ける　2 洗濯物を入れる　3 電源を入れる**

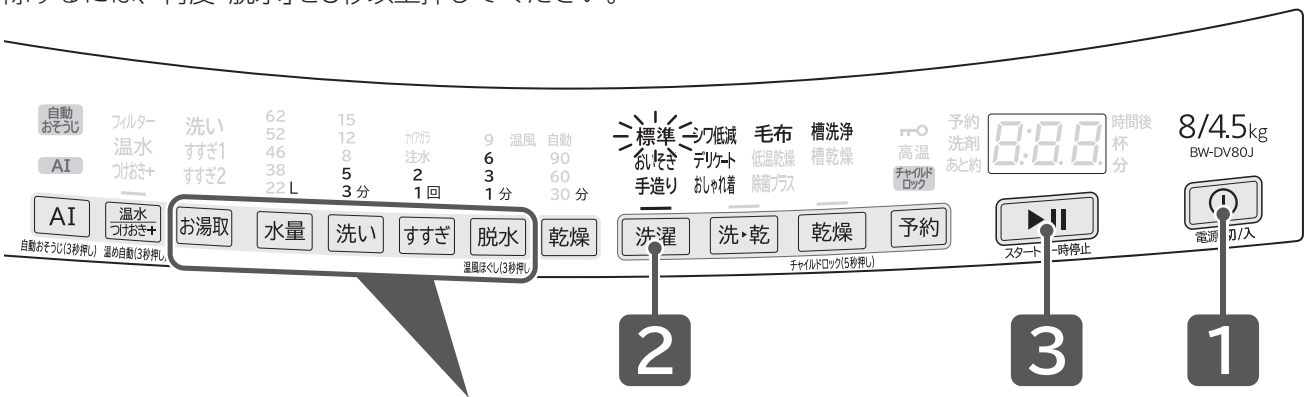
洗い・すすぎを設定するときは、水栓(蛇口)を開けてください。

2 **洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ**

脱水 を押し、お好みの脱水時間を設定する

3 **スタートボタンを押す**

設定中に「脱水」を3秒以上押すと、温風ほぐし脱水が設定されてしまいます。
解除するには、再度「脱水」を3秒以上押してください。



運転内容の設定	2 水量	2 洗い	2 すすぎ	2 脱水	2 お湯取	備考
脱水のみ※1				脱水		お好みの脱水時間を設定してください。(1分、3分、6分、9分)
排水のみ※1				脱水		1分を設定してください。洗濯・脱水槽が回転します。
洗いのみ	水量	洗い				洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
すすぎのみ	水量		すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**すすぎ**	水量	洗い	すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**脱水**	水量	洗い		脱水		—
すすぎと**脱水**	水量		すすぎ	脱水		—
水道水をためる	水量	洗い				「洗い」を数回押して、洗い・すすぎ・脱水の表示をすべて消し、お好みの「水量」のみ設定してください。洗濯・脱水槽に水がたまったまま停止します。
風呂水をためる	水量	洗い			お湯取	洗濯・脱水槽に風呂水がたまったまま停止します。

※1：「脱水」のみ、「排水」のみを設定したとき、残時間が設定時間よりも長く表示されます。
(脱水の前に排水するため、時間がかかります)

お好みの設定で運転する　つづき

運転内容と変更できる内容

：標準設定内容　：各ボタンで切り替えできる内容

コース	水量	洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	22～52L	5分	回転シャワー※5	ため
	22～62L※1	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回、ナイアガラ※2	
ナイアガラすすぎ設定時	22～62L※1	3、5、8、12、15分※2	ナイアガラ※2	
おいそぎ	22～46L	3分※4、5分	ため	―
	22～62L※1	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回※2	
手造り	22～62L	5分	ため	ため
	22～62L※1	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回、ナイアガラ※2	
シワ低減洗濯	22～52L	5分	ため	ため
		3、5、8、12、15分		
デリケート	52L	8分	ため	ため
	22～62L	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回※2	
おしゃれ着	62L	19分（表示は15分）	ため	ため
	22～62L	19分（表示は15分）※2	ため1～2回※2	
毛布	62L	25分（表示は15分）	注水	注水
	22～62L			
シワ低減	22～38L	5分	回転シャワー※5	ため
		3、5、8、12、15分	ためまたは注水1～2回	
低温乾燥	22～52L	5分	回転シャワー※5	ため
	22～62L※1	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回、ナイアガラ※2	
除菌清潔プラス	―	―	―	―

※1：「水量」の表示を消したときは自動計測されます。
※2：「洗い」「すすぎ」「脱水」の表示を消したときは運転しません。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間と異なります。

- ●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。
  (本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
- ●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
- ●残時間は1分ごとに減っていきます。ただし、運転途中で補正しながら表示されるので、残時間が増える場合があります。
  乾燥運転中に残時間が「10分」、「20分」、「30分」と点滅表示されてから1～2時間変わらないときがありますが、異常ではありません。
- ●標準洗濯容量の6～7割以下で洗濯した場合、最終脱水終了後にかくはん翼が回転し、洗濯物をほぐすための「ほぐし脱水」を自動で行います。そのため、所要時間が約2～4分長くなります。(「標準」「手造り」コース)
- ●「ほぐし脱水」の動作中は残時間表示が点滅します。
- ●「ほぐし脱水」の動作中に一時停止ボタンを押すと、自動で電源が切れ、洗濯物を取り出すことができます。

脱水		乾燥		所要時間の目安 （実際の時間と異なります）		
洗濯	洗▶乾	洗▶乾	乾燥	洗濯	洗▶乾	乾燥
6分 1、3、6、9分※2	1分※3	自動 30、60、90分、自動	自動 30、60、90分、自動	28分 約(15～65分)	1時間～6時間半	30分～6時間
1、3、6、9分※2	1分※3	30、60、90分、自動	—	約56分	1時間～6時間半	—
1分※4、3分 1、3、6、9分※2	1分※3	自動 30、60、90分、自動	—	23分 約(10～55分)	1時間～6時間半	—
6分 1、3、6、9分※2	1分※3	自動 30、60、90分、自動	—	43分 約(20～60分)	1時間～6時間半	—
3分	—	—	—	44分 約(35～55分)	—	—
1分 1、3、6分※2	—	—	—	32分 約(15～50分)	—	—
3分 1、3、6分※2	—	—	100分 (表示は90分)	44分 約(25～50分)	—	100分 (表示は90分)
9分 1、3、6、9分※2	1分※3	自動	—	62分 約(45～65分)	4時間	—
—	1分※3	自動	—	—	2時間～5時間半	—
—	1分※3	自動	自動	—	2時間半～7時間半	2時間～7時間半
—	—	—	60分	—	—	60分

※3：脱水時間は変更できませんが、乾燥運転時に高速脱水を行います。
※4：洗濯物の量が約2kg以下で、水量「22L」または「38L」に自動計測されたときの時間になります。
※5：「風呂水」設定時または、すすぎを再設定した場合は、ためすすぎになります。

コースの内容

●電源を入れると、前回運転したコースが表示されます。(洗濯の「標準」「おいそぎ」「手造り」コース)
●運転スタート後に運転内容を変更するときは、一時停止ボタンを押してから変更してください。
「洗い」行程終了後は、運転内容は変更できません。
●運転スタート後、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。
●すすぎ運転中に水量を変更するときは、一時停止ボタンを押してから「水量」ボタンを押してください。

●洗濯物の量や種類によっては、乾燥時間が長くなることがあります。
●洗濯運転の「おいそぎ」コースでは、少量で軽い汚れであれば、約1.5kg以下を約10分で洗えます。
洗▶乾運転の「おいそぎ」コースでは、約1.5kg以下を約98分で乾かします。

便利な使いかた

運転スタート音・終了予告音・終了音の設定

運転スタート・終了予告・終了時のメロディ音を同時に変更することができます。

1 **電源を入れる**

2 洗・乾 **を3秒以上押す** ▶

→ メロディ (工場出荷時の設定) → ブザー → 音なし (受付音「ピー」)

受付音のあとも押し続けることで、設定が変わります。
ご希望の音になるまで、設定の切り替えを繰り返してください。
設定完了をそれぞれの音でお知らせします。
「終了予告音の設定」は、工場出荷時は「音なし」が設定されています。

3 **電源を切る**
(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

終了予告音の設定

予告音にて運転終了約10分前をお知らせします。
(「洗▶乾」運転および「乾燥」運転時の予告音が鳴ったときの残時間は、コースや設定内容により異なります)

1 **電源を入れる**

2 **スタートボタンを3秒以上押す** ▶

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。

音なし(工場出荷時の設定) 「ピッ・ピッ・ピー」 ⟷ **音あり** 「ピッ・ピッ・予告音メロディ」

「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」によって、切り替え時に鳴る音が異なります。
「音あり」を設定しても、「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」が「音なし」に設定されていると、終了予告音は鳴りません。

3 **電源を切る**
(電源を切ることで完了となります)

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●終了予告音の設定をすると、「おいそぎ」コースなど運転時間が短い場合は、スタートしてすぐ洗剤量表示中などに終了予告音が鳴ることがあります。
●脱水時に、洗濯物の片寄りが起こり脱水をやり直したときは、終了予告音は鳴りません。

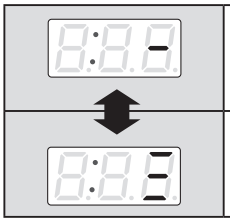
すすぎの給水時間を長くする（回転シャワー）

洗濯・脱水槽を回転させ、衣類に水をかける回転シャワーすすぎの給水時間を長くすることができます。→(P.56)

1 電源を入れる

2 すすぎ を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。



0:00	**設定なし (工場出荷時の設定)**	「ピー」音で お知らせします
0:03	**設定あり**	「ピッ」音で お知らせします

3 電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

水量を多めにする

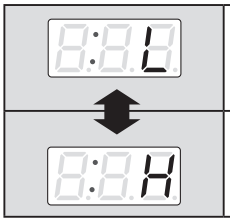
洗濯物の量に合わせて自動設定される水量を、多めに設定することができます。

最低水量は「38L」になりますが、各コースの最高水量はそのままです。
「シワ低減洗濯」コース、「洗▸乾」運転、温水「温め自動」、温水「90分」、温水「180分」は設定が反映されません。

1 電源を入れる

2 水量 を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。



0:0L	**設定なし (工場出荷時の設定)**	「ピー」音で お知らせします
0:0H	**設定あり**	「ピッ」音で お知らせします

3 電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

便利な使いかた　つづき

脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる（温風ほぐし脱水）（「洗濯」コースのみの設定です）

脱水後に温風を吹きかけて、ほぐし動作を行い、洗濯物を温かくやわらかな状態で取り出すことができます。

1 電源を入れる

2 脱水 を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

9 6 3 1 分 温風 消灯	設定なし (工場出荷時の設定)	「ピー」音で お知らせします
9 6 3 1 分 温風 点灯	設定あり	「ピッ」音で お知らせします

3 電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●「ほぐし脱水」と「温風ほぐし脱水」の動作を行う場合
・「温風ほぐし脱水」が「設定あり」の場合、洗濯運転の最終脱水後、「ほぐし脱水」を約2～4分、「温風ほぐし脱水」を約4～6分行います。なお、水温が低い場合は、「温風ほぐし脱水」の時間が長くなる場合があります。
●「ほぐし脱水」と「温風ほぐし脱水」の動作を行わない場合
・洗濯物の量が6～7割以上の場合は、衣類を傷める場合があるため行いません。
・「洗い」設定なしの場合は動作を行いません。
●「温風ほぐし脱水」動作中に一時停止させると、「高温」が点滅することがあります。
点滅中はふたを開けることはできません。
●「温風ほぐし脱水」動作中に一時停止ボタンを押すと、電源が切れます。
●設定できないコースがあります。→(P.30)

乾き具合を調節する（「洗▸乾」「乾燥」コースのみの設定です）

乾燥後の洗濯物の乾き具合は、洗濯物の量、大きさ、質によって異なります。
運転開始前に乾き具合を調節することができます。

1 電源を入れる

2 洗▸乾 または 乾燥 を押し、「標準」コースを選ぶ

3 30分 乾燥 を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

−:−−	標準： 工場出荷時の設定	「ピー」音で お知らせします
H:−−	しっかり： 乾きがわるいとき	「ピッ」音で お知らせします

4 電源を切る

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
設定できないコースがあります。→(P.30)

洗濯液を2度使う

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

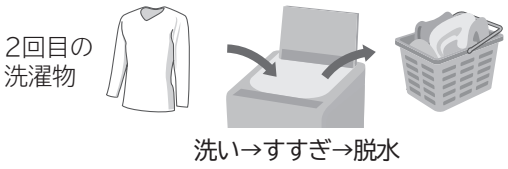
1 1回目は汚れの少ないものを洗う

1 「洗い」のみを設定する→**(P.55)**
2 「水量」を設定し、洗剤を入れる
3 運転終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す



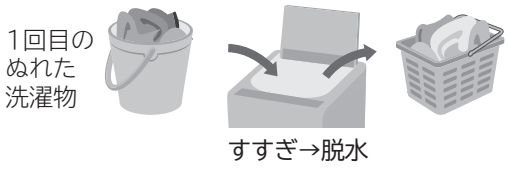
2 2回目は汚れの多いものを洗う

1 1回目の洗濯液を利用して、お好みのコースを設定する→**(P.56)**
「シワ低減洗濯」「シワ低減」コースは設定できません。
2 洗濯物に応じた水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す



3 1回目に洗い終わった洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

1 「すすぎ」と「脱水」を設定する→**(P.55)**
2 1回目と同じ水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す



お手入れをする

長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

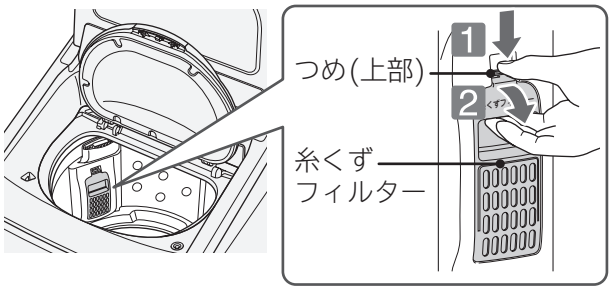
糸くずフィルター

洗濯、洗濯～乾燥運転終了後、毎回お手入れをしてください。
洗濯物に糸くずが付着したり、排水口が詰まる原因になります。

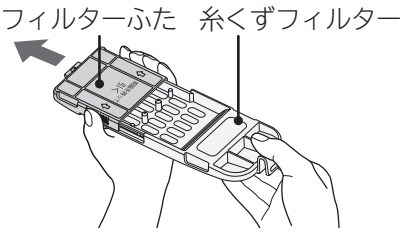
1 糸くずフィルターを取り外す

1 糸くずフィルターのつめ(上部)を、押したまま

2 手前に倒し、取り外す



2 フィルターふたの両脇を持ってスライドさせ引き抜く



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

4 フィルターふたを糸くずフィルターに元どおり取り付ける

「カチッ」と音がするまで押して取り付けてください。
運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



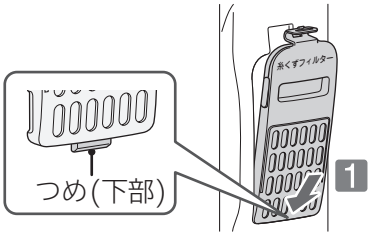
5 糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

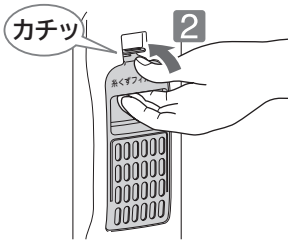
1 糸くずフィルターのつめ(下部)を、取り外した位置に入れる

本体につめ(下部)が確実に差し込まれているか確認してください。

2 糸くずフィルターのつめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す

つめ(上部)、(下部)が取り付けられていない状態で運転すると、糸くずフィルターが外れたり、破損するおそれがあります。





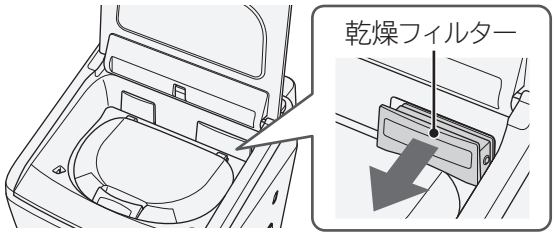
●糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、硬貨やヘアピンなどを落とさないように注意してください。
●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷める場合があります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

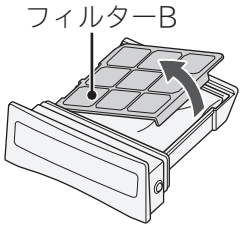
乾燥フィルター・乾燥フィルター差し込み口

乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れをしてください。乾燥運転を行わない場合でも、結露などにより乾燥フィルターがぬれることがあり、放置するとカビや菌が発生するおそれがあります。
また、お知らせ表示「フィルター」が表示された場合、お手入れをしてください。

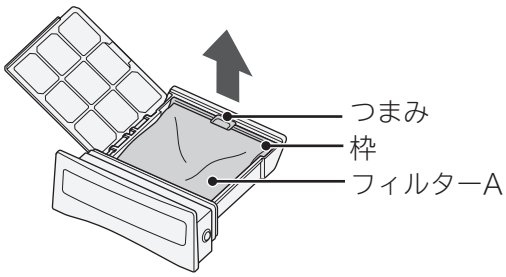
1 乾燥フィルターを手前に引き抜く



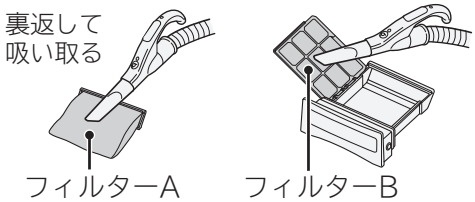
2 フィルターBを開く



3 フィルターAのつまみを持って、垂直に引き上げ、取り外す

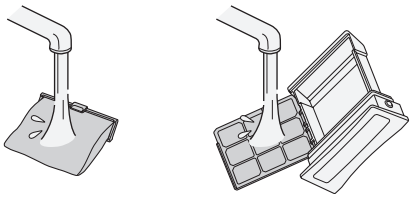


4 フィルターA、Bのネットに付着したほこりを、掃除機で吸い取る



汚れがひどい場合

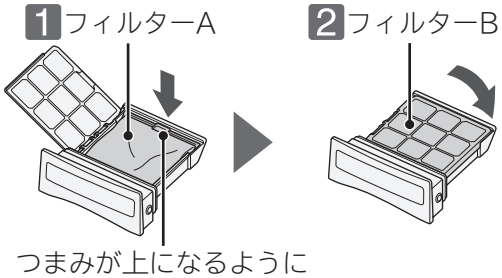
手でやさしく水で洗い流してください。洗剤、漂白剤は使用しないでください。よく乾かしてから取り付けてください。



5 フィルターを取り付ける

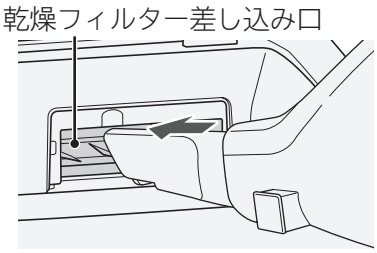
1 フィルターAを乾燥フィルター本体に取り付ける

2 フィルターBを閉じる



6 乾燥フィルター差し込み口の奥に付着したほこりを掃除機で吸い取る

乾燥フィルター差し込み口の奥側にほこりが付着しているときがあります。
付着したほこりが乾いた状態で行ってください。
ほこりが湿った状態でお手入れすると、掃除機の故障の原因になります。



7 乾燥フィルターを取り外した位置に取り付ける

●取り付けられていない場合、お知らせ表示「C15」が表示されます。→(P.73)
●取り付けられたあと電源を入れ、お知らせ表示「フィルター」が表示されている場合は、スタートボタンを押すと消えます。

乾燥フィルターを取り付けられていないと、「洗濯」運転も「乾燥」運転もできません。

お願い 乾燥フィルターは消耗品です。乾燥フィルターのネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

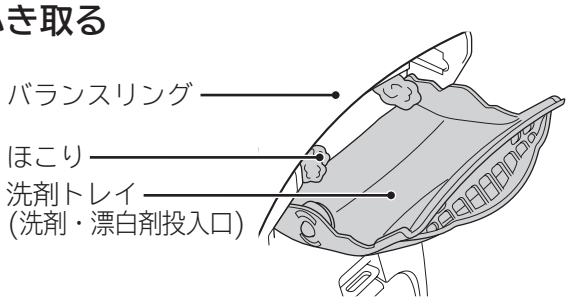
洗剤トレイ（洗剤・漂白剤投入口）

洗剤や漂白剤が付着しているときや、ほこりが付着して汚れているときは、お手入れをしてください。

1 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を開ける

2 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)の汚れをふき取る

●洗剤が残っている場合は、ふき取ってください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)を使用して、歯ブラシなどで掃除してください。
●乾燥運転時に発生したほこりが、洗剤投入部に付着している場合は、ふき取ってください。
（特にタオルなどを乾燥した場合）



3 水気をふき取り、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)を閉める

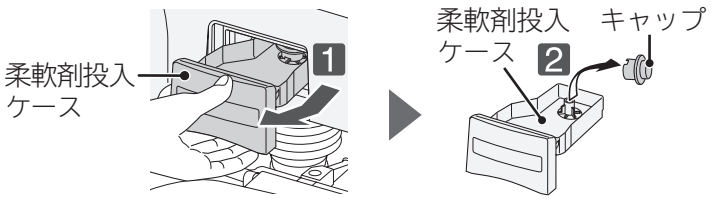
柔軟剤投入ケース

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1 柔軟剤投入ケースを引き抜き、キャップを取り外す

1 柔軟剤投入ケースを手前に引き、斜め上方向に引き抜く

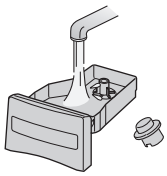
2 柔軟剤投入ケースからキャップを取り外す



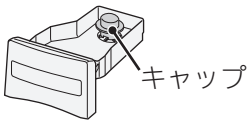
2 柔軟剤投入ケース、キャップの汚れを洗い流す

水気をふき取ります。

汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分間浸し、歯ブラシなどで掃除してください。



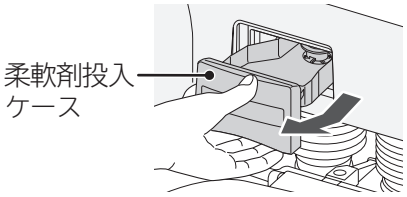
3 キャップを取り付け、柔軟剤投入ケースを取り外した位置に取り付ける



柔軟剤投入ケース差し込み口

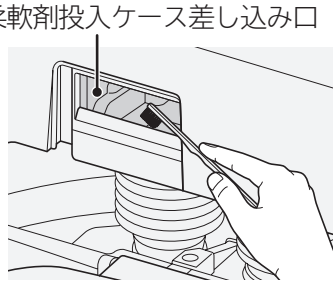
柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

1 柔軟剤投入ケースを手前に引き、斜め上方向に引き抜く



2 柔軟剤投入ケース差し込み口を歯ブラシなどで内部を掃除する

湿った布で汚れをふき取ってください。



3 柔軟剤投入ケースを取り外した位置に取り付ける

お手入れをする　つづき

本体

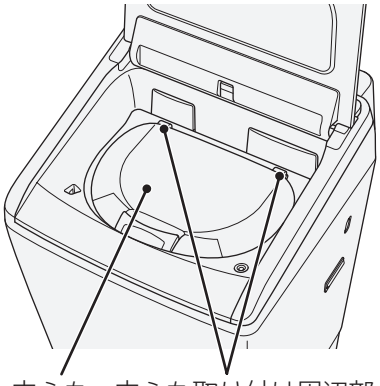
水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

●本体の水滴や汚れ、ふたなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。
放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ふたの強化ガラス面は、柔らかい布でふき取ってください。
薬品やガラスクリーナーなどは使用しないでください。
周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤　・ワックス

内ふた

内ふたや、その周辺に糸くずや水滴などが付着しているときは、お手入れをしてください。

●内ふた周辺に付着した糸くずなどは、柔らかい布でふき取ってください。糸くずが付着していると水漏れや、糸くずが洗濯物に付着する原因になります。
●内ふたの取り付け周辺部に洗剤、漂白剤、柔軟剤が付着しているときや汚れているときは、湿った布でふき取ってください。
洗剤などの付着により、内ふた開閉時に音が発生する場合があります。また、内ふた周辺の金属部分に洗剤などが付着していると、さびが発生することがあります。
●洗濯中に飛んだ水や結露した水が、内ふたの内側に残りますので、柔らかい布でふき取ってください。



洗濯・脱水槽

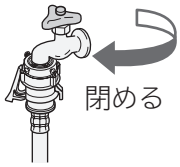
汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

●金属たわしでこすらないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
・洗濯・脱水槽内や内ふた周辺の金属部分に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
●運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
●汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.70)**
●洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.70)**
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン　・シンナー　・クレンザー(粉末タイプ)　・アルカリ性洗剤　・ワックス

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、お知らせ表示「C01」が表示された場合、お手入れをしてください。水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める



2 給水ホース内の水を抜く

1 内ふた、ふたを閉めて、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

3 スタートボタンを押し、約1分間運転する

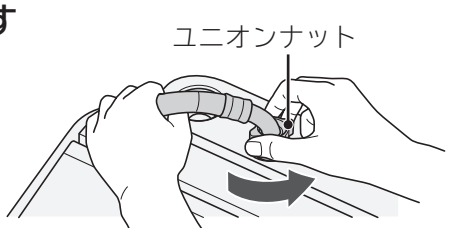
すぐに給水動作が始まり、給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

4 一時停止ボタンを押して、運転を一時停止する

5 電源を切る

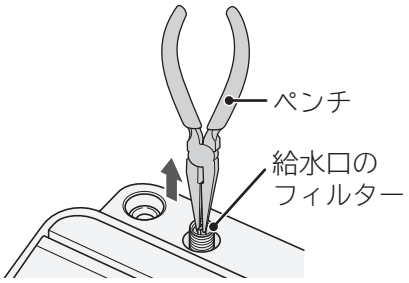
3 ユニオンナットを矢印方向に回し、給水ホースを外す

給水ホース内の残水が垂れる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けられていないと、給水弁の故障の原因になります。



5 給水ホースを給水口に取り付ける →(据付説明書 P.14)

給水ホースを取り付ける場合は、ユニオンナットと給水口を傾きがないようにしっかり取り付けてください。つぎてを回して追い締めをしないでください。パッキンのめくれにより水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける



お手入れをする　つづき

風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

1 **吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く**

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 **ポンプフィルターを取り外し、水洗いする**

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチなどでつまみながら引き上げてください。



3 **ポンプフィルターを風呂水吸水口に取り付ける**

お湯取ホース・クリーンフィルター

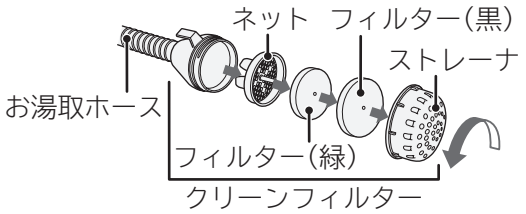
風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

1 **吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く**

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 **ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す**

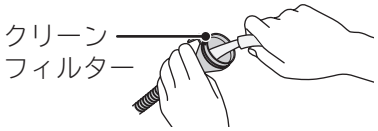


3 1 フィルター、ストレーナを水洗いする
2 ネットは歯ブラシなどで掃除する



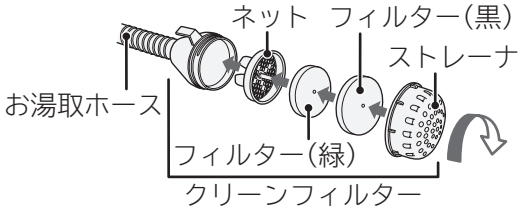
4 **お湯取ホースの内部をお手入れする**

勢いが強めの水道水をお湯取ホースの中に流し、内部のゴミを洗い流します。



5 **水気をふき取り、取り外した位置に取り付ける**

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。



お願い　お湯取ホース・クリーンフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

排水口・排水トラップ

月に一度を目安にお手入れをしてください。
また、においが気になる場合、乾燥時間が長い場合、乾きがわるい場合やお知らせ表示「C02」や「C18」が表示されたときにもお手入れをしてください。

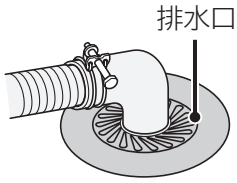
1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「脱水」のみなどの個別運転をする →(P.55)

2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くに
バケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。



2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

別売り部品の洗濯機用排水トラップのお手入れ方法については、洗濯機用排水トラップの
取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込む

お手入れをしても排水できない場合や、再びお知らせ表示「C02」や「C18」が表示されたときは、
お困りのときを確認してください。**→(P.72)**

- ●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。**→(据付説明書 P.17)**
- ●排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に差し込まれていることを確認してください。**→(据付説明書 P.9)**

洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース)

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。
洗濯・脱水槽の中に衣類は入れないで運転してください。

コースの使い分け

コース	運転時間	こんなときに	使用する洗濯槽クリーナー
槽洗浄	11時間	**洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき** 洗濯・脱水槽や洗濯物に汚れが付着した場合、洗濯・脱水槽内からにおいがする場合に運転をおすすめします。	**防食剤配合塩素系漂白剤** 例：日立純正洗濯槽クリーナー SK-1500(別売り部品) **→(P.86)** 
	3時間	**洗濯・脱水槽のにおいの発生を抑制したいとき** 定期的な運転をおすすめします。 ・「洗濯槽自動おそうじ」を継続使用している場合は、3～4か月に一度程度 ・「洗濯槽自動おそうじ」を継続使用していない場合は、1～2か月に一度程度	**衣類用塩素系漂白剤** (「ハイター」など)または **洗濯槽用塩素系漂白剤** 
槽乾燥	30分	**洗濯・脱水槽を乾かしたいとき**	**使用しない**

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合（換気をする）

●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤を使用する際は、十分に換気をしてください。
●日立純正洗濯槽クリーナーSK-1500(別売り部品)を使用する場合は、1回の槽洗浄運転ごとに1本(約1500mL)を使い切ってください。塩素系漂白剤で使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
●酸素系洗濯槽クリ ーナーは使用しないでください。
洗濯・脱水槽内に汚れが残ってしまう場合があります。
●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
●洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体各部に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。

運転動作

槽洗浄コース

高水位のつけおき洗いで、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間乾燥してにおいを取ります。

洗い
洗濯・脱水槽に高水位まで給水します。 ▶ かくはんします。(約15分) ▶ つけおきします。(かくはん休止) 11時間コース：約10時間 3時間コース：約1時間40分 ▶ **すすぎ** 排水・脱水後ためすすぎを2回します。 ▶ **排水・脱水** 排水して、脱水します。 ▶ **乾燥** 乾燥します。(約30分)

槽乾燥コース

約30分間、洗濯・脱水槽を乾燥します。

乾燥
乾燥します。(約30分)

槽洗浄コースの手順

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。

1

1 水栓(蛇口)を開ける　2 電源を入れる

2

1 洗濯 **を押し、「槽洗浄(11時間)」コースを選ぶ**

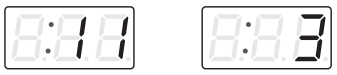
「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶときは、もう一度 洗濯 **を押す**

2 日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を、洗濯・脱水槽に直接入れる

本体各部(洗濯・脱水槽以外)に付着しないように注意してください。
付着したときは、すぐにふき取ってください。
風呂水を使用する→(P.26～29)

表示例

槽洗浄11時間　槽洗浄3時間



3

1 内ふた、ふたを閉める
2 スタートボタンを押す
3 運転終了後、お手入れをする

表示例　スタート直後の残り時間

スタート直後　残り時間「9時間59分」　終了



スタート直後から残り時間「10時間」まで

残り時間「9時間59分」表示後、終了まで1分ごとに減っていきます。

槽乾燥コースの手順

1

電源を入れる

2

乾燥 **を押し、「槽乾燥(30分)」コースを選ぶ**

3

1 内ふた、ふたを閉める
2 スタートボタンを押す

表示例　スタート後の残り時間

残り時間「30分」　終了



残り時間「30分」表示後、終了まで1分ごとに減っていきます。

お困りのとき

下記以外が表示されたときは→(P.80)

お知らせ表示(「C○○」などが表示)されたとき

「お知らせ表示」のみ点滅している場合、運転は終了しています。
運転の途中で停止した場合は、表示とブザーでお知らせします。

「お知らせ表示」に加え、「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」のいずれかが点滅している場合は、点滅している行程で運転が停止しています。
そのときは、下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。
お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。



「C○○」が表示されているときは下表を確認してください。
繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ご不明な点は「修理に関するご相談窓口」にご相談ください。→(P.90)

お知らせ表示と内容	直しかた
 給水されません	▶II を押して一時停止 ●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。→(P.67) ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。→(P.84、85) 確認後 ▶II を押して運転開始
 排水されません	▶II を押して一時停止 洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。 脱水運転を行い、排水されたことを確認後、以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。→(P.69) ●排水ホースを正しく取り付けてください。→(据付説明書 P.9) ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを本体ホース掛けにかけたままではありませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースの長さを2m以下にしてください。 確認後 ▶II を押して運転開始
 (「シワ低減洗濯」「シワ低減」コース、「乾燥」運転時に表示されたとき)	⏻ を押して電源を切る 洗濯・脱水槽の中に水が入っている場合、脱水運転を行い、排水してください。→(P.55) 洗濯運転の「脱水」のみを行う
 ふたが開いています	「洗い」中 ふたを閉めてください。 ふたを閉めると運転再開
	「洗い」(「おしゃれ着」、「毛布」コース)設定時)・「すすぎ」・「脱水」中 ▶II を押して一時停止 ふたを閉めてください。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。→(P.13) ふたを閉めて ▶II を押して運転開始
	チャイルドロック設定時 ふたを閉めてください。 ▶II を押して一時停止 もう一度 ▶II を押して運転開始
 脱水されません	▶II を押して一時停止 ●洗濯物の片寄りを直してください。→(P.19) ・洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。 ・大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。また、フリースなど水を含みにくい洗濯物は、一つだけで洗濯しないでください。ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。→(据付説明書 P.12) 確認後 ▶II を押して運転開始

お知らせ表示と内容	直しかた
 自動運転(最大4～6時間)で乾燥されません	⏻ を押して電源を切る ●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れをしてください。→**(P.63、64)** ●洗濯物を脱水してください。 また、絡みをほぐしてください。 ●給水してください。(乾燥運転中も冷却用に水を使います) 「C01」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。
 ふたがロックされません	▶II を押して一時停止 ふたを閉めてください。 洗濯物を挟んだままにしていないことを確認してください。 確認後 ▶II を押して運転開始
 ふたのロックが解除されません	ふたをしっかり閉めてください。 ▶II を押して一時停止 ふたを開けてください
 乾燥フィルターが外れています	▶II を押して一時停止 乾燥フィルターを差し込み口の奥まで取り付けてください。 (乾燥フィルターは洗濯運転のときも取り付けてください) 確認後 ▶II を押して運転開始
 脱水されません	▶II を押して一時停止 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水異常や泡が多量に発生しているときは、一度すすぎを行い脱水してください。→**(P.55)** 確認後 ▶II を押して運転開始
 洗濯物の量が多すぎます	▶II を押して一時停止 ●洗濯物の量を減らしてください。 (洗濯物の量は、種類や大きさ、布質により異なります) ●ぬれた洗濯物を乾燥運転する場合、洗濯物の量が重く計測されます。 脱水運転を6分行ってください。 確認後 ▶II を押して運転開始
 洗濯・脱水槽が回転しません	▶II を押して一時停止 ●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯物の絡みをほぐしてください。 ●電源コードを延長して使用しないでください。→**(P.8)** ●同じコンセントにほかの機器を接続しないでください。→**(P.8)** 確認後 ▶II を押して運転開始
フィルター 乾燥フィルターが目詰まりしています	▶II を押して一時停止 ●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れをしてください。→**(P.63、64)** 乾燥フィルターのお手入れをしたあとでも、電源を入れると「フィルター」が表示する場合があります。 (ふたを開けると表示は消灯します) 確認後 ▶II を押して運転開始



電源プラグを抜き差ししても「F○○」が繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ご不明な点は「修理に関するご相談窓口」にご相談ください。→**(P.90)**

お困りのとき　つづき

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。



マークの音は、ホームページからサンプル音が試聴できます。
(音は水道水圧、洗濯物の量、本体の設置環境などにより異なります)

2023_bwd

こんな音がしたときは		音の原因（故障ではありません）	
洗濯運転しているとき	ジュジュ	給水中の音です。 ・給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししぼって給水量を調節してください。	音
	カチッ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。	音
	ピー	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転速度が上がると、音が大きくなることがあります。	音
	ブーン	コントロール基板を冷却している音です。	音
	ポコポコ	配管内の空気が動いている音です。	―
	シャー・シュワシュワ	泡が多量に発生したとき、泡消しのために水を流している音です。	―
		脱水運転中に「洗濯槽自動おそうじ」が作動している音です。	音
乾燥運転しているとき	ピー	かくはん翼を回すモーターの運転音です。	―
	ブォーン	シワ低減コースの運転音です。 ・乾燥運転中に一時的に大きくなることがあります。 ・乾燥運転終了後、ファンの運転を止めるときにも音がします。	音
	ブーン	温風を吹き出すときのファンの運転音です。 ・乾燥運転中に一時的に大きくなることがあります。 ・乾燥運転終了後、ファンの運転を止めるときにも音がします。	音
	ポコポコ	配管内の空気が動いている音です。	―
お湯取運転しているとき	ウィーン	風呂水が吸水されるときの、風呂水ポンプの運転音です。 ・風呂水の吸水が始まったとき、風呂水がなくなったとき、正しく風呂水吸水されなくなったときに、風呂水ポンプの運転音が大きくなることがあります。	音
	ポコ・ポコ	風呂水が吸水されるときに、風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。	音

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
❶ 本体・振動・音	本体からにおいがする	ゴム製品などのにおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。 気になる場合は、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.70)**
		洗濯・脱水槽に石けんかすやカビや菌が発生すると、においの原因になります。 ・「洗濯槽自動おそうじ」を設定することをおすすめします。**→(P.47)** ・汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.70)** ・洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.70)** また、ふた、内ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
		排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.69)**
		排水ホースの取り付け位置を、上段に変更すると、においを防ぐことができます。 **→(据付説明書 P.8)**
	表示部がくもる	お湯取運転または乾燥運転で洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体の上部や後部が熱い	本体内部に乾燥用ヒーターがあるため、乾燥運転中は熱くなります。 乾燥運転終了後、本体の温度が下がるまで、お待ちください。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。**→(P.90)**
	乾燥運転時に床面がぬれる	乾燥運転中は十分に換気してください。 乾燥運転中の湿気で床面が結露することがあります。 別売り部品の洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。 **→(据付説明書 P.17)**
	運転終了後に内ふたの裏側や衣類を投入する周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴や、「洗濯槽自動おそうじ」運転時のシャワー水が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどでふき取ってください。
	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。 **→(据付説明書 P.12)**
		ふた、内ふたを開けて、目視できる範囲で洗濯・脱水槽内に、硬貨やヘアピンなど異物が残っていないことを確認してください。
		洗濯物が片寄っていないことを確認してください。 一時停止ボタンを押したあと、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。スタートボタンを押すと運転が再開されます。
	運転終了時に音が大きくなる	送風ファンの動作確認のため、送風運転をしています。

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
❷ 給水口・給水	給水されない	お湯取運転が設定されていると、すぐに水道水が給水されません。 お湯取運転が設定されていないことを確認してください。**→(P.28)**
		水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。
		スタート後、ふたを閉めてから約1分後に給水が始まります。 ふたが開いていると給水されません。
		給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.67)**
		水道や給水ホースが凍結していないことを確認してください。**→(P.84)**
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩み、さびや傷などがあると水漏れに至るおそれがあります。 水道工事店へご相談することをおすすめします。
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源が入っていることを確認してください。 電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
❸ 排水口・排水	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、表示に従って適量を入れてください。**→(P.20)**
❹ ふた	ふたが開かない	電源を入れ、ふたのロック表示を確認してください。**→(P.13)** ・ チャイルドロック が点灯中は、チャイルドロックが設定されているため、ふたは開けられません。 運転を一時停止させてから 乾燥 を5秒以上押して、 チャイルドロック を消灯させてください。 ・ が点灯中は、ふたにロックがかかっているため、ふたが開けられません。 「スタート/一時停止」ボタンを押して を消灯させてください。 ・運転の途中で電源が切れた場合は、ふたがロックされたままの状態で運転が終了します。 電源を入れ、 が消灯するとふたは開けられます。 チャイルドロック が点灯している場合は、チャイルドロックを解除してください。 ・ 高温 が点灯中(または点滅中)は、ふたにロックがかかっているため、ふたが開けられません。 乾燥運転を途中で停止させた場合や電源を切った場合、洗濯・脱水槽が高温のため、1～15分の冷却運転が始まります。 冷却運転後、 高温 が消灯するとふたは開けられます。
	ふたが「バタン」と閉まる	ふた開閉アシスト機構は、室温の影響を受けます。 暖かいときと、寒いときでは、ふたの閉じるスピードが変化します。

こんなときは		ここを確認してください
⑤ 洗濯・脱水槽	**初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている**	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色する場合があります。気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。
	洗濯・脱水槽内のプラスチック部品が変色する	色落ちしやすいものを洗濯すると、洗濯・脱水槽内のプラスチック部品に色移りする場合がありますが、機能上問題ありません。
		乾燥運転直後など温度が高いとき、糸くずフィルターが白くなりますが、温度が低くなると元に戻ります。機能上問題ありません。
⑥ 風呂水吸水口・風呂水吸水	**浴槽内の風呂水が減らない**	お湯取運転が設定されていることを確認してください。**→(P.28)**
		お湯取ホースが正しく取り付けられていることを確認してください。**→(P.26)**
		お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていないことを確認してください。**→(P.68)**
		お湯取ホースに亀裂があったり穴が開いていないことを確認してください。
⑦ 乾燥フィルター	**乾燥フィルターがぬれている**	下記の場合は、乾燥フィルターや乾燥フィルター取り付け部に結露水が発生する場合があります。 ・洗濯運転のみを行ったとき ・温水「90分」、温水「180分」やお湯取運転をしたとき ・乾燥運転を途中で停止させたとき ・洗濯物が完全に乾かずに終了したとき ・乾燥フィルターが目詰まりしているとき 運転終了後に乾燥フィルターをぬれたまま放置すると、カビや菌が発生するおそれがあります。 乾燥フィルターを取り外して乾いた布でふき取るか自然乾燥させてください。
⑧ 柔軟剤投入ケース	**柔軟剤投入ケースに水が残っている**	本体が傾いて据え付けられていると、柔軟剤投入ケース内に水が残ります。 水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。 **→(据付説明書 P.12)**
		柔軟剤投入ケース内のキャップを奥まで取り付けてください。 柔軟剤投入ケースは、サイホン現象により水を排出する構造のため水が残ります。
		柔軟剤投入ケースやキャップに汚れや水が残っている場合は、お手入れをしてください。 **→(P.65)** 柔軟剤の蓄積による汚れが付着していると、サイホン現象が働かず水が残ります。
		蒸気や結露などで、柔軟剤投入ケース内に水が残ります。 水気をふき取ってください。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
⑨ 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.20)
		洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物をほぐすため「注水すすぎ」に変更されます。
		すすぎ運転をお湯取運転に設定していると、自動で「ためすすぎ」に切り替わります。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、お知らせ表示「C04」が表示され、運転が途中で停止することがあります。洗濯物の片寄りを直してください。→(P.72)
		最終脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物をほぐしたり、泡の発生を抑えるために「ためすすぎ」運転に戻ります。
	脱水が足りない	脱水の時間設定を長くしてください。
	洗い運転中に洗濯・脱水槽が停止している(運転が停止している)	運転中は「洗い」の時間表示が点滅しています。点滅していることを確認してください。 ・「毛布」コースは、傷みを防ぎながら洗うため、運転が停止しているように見える場合があります。 ・「おしゃれ着」「槽洗浄」コースやつけおきプラスは、つけおきをする行程があるため、運転が停止しているように見える場合があります。
	温水の表示が点灯しない	「温水」が設定されていることを確認してください。→(P.49～51) 温水「温め自動」：「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「槽洗浄」コース、「乾燥」運転は設定できません。 温水「90分」または温水「180分」：「標準」コースで設定できます。
	温水の表示が消えてしまう	下記の場合、「温水」が設定できないため、自動で消灯します。 ・洗濯・脱水槽に約24L以上の水が入った状態で運転を開始したとき。 ・「温め自動」は、水温が約14℃以上のとき解除されます。
	乾燥運転中に水を使用している	乾燥運転中に水を使用します。 (槽乾燥コースは、水を使用しません)
	運転中に停電した	・ふたがロックされたままの状態で運転が終了します。 停電復帰後に電源を入れ、 が消灯するとふたが開けられます。 ・停電復帰後は、自動的に運転は再開されません。 電源を入れ、運転をやり直してください。 ・予約運転待機中に停電したときは、予約運転は取り消されます。 停電復帰後に再度予約運転を設定してください。

こんなときは		ここを確認してください
⑩ 運転時間	運転時間が長い	本体を置いている場所の室温が5 ℃以下、または30℃以上ではないことを確認してください。室温が低過ぎたり、高過ぎたりすると、乾燥時間が長くなります。 2回以上連続で乾燥すると、乾燥時間が長くなります。
		給水温度が30℃以上になると、除湿効果が低下し、乾燥時間が長くなります。 乾燥時の給水には、30℃以上の水は使用しないでください。
		洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間は、実際の運転時間と異なる場合があります。
		洗濯運転の途中で洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなる場合があります。
		脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
		「おいそぎ」コースで、手動設定をしていると、運転時間が長くなる場合があります。
		お湯取運転を設定していると風呂水の吸水状態により、運転時間が長くなる場合があります。
		乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなったり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは、乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れをしてください。→(P.63)
		「洗濯槽自動おそうじ」を設定すると、脱水行程で「洗濯槽自動おそうじ」が作動するため、運転時間と使用水量が増えます。
		「注水すすぎ」を設定すると、「ためすすぎ」よりも使用水量が増えます。
		「ナイアガラすすぎ」を設定すると、すすぎの運転動作が変わるため、運転時間と使用水量が増えます。
		AIお洗濯で、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が長くなる場合があります。 (衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)
		洗濯物の組み合わせや、本体を設置している場所の気温が低い場合(特に冬場など)には、乾燥時間が長くなる場合があります。

お困りのとき　つづき

操作パネルの表示内容〔「C○○」などが表示されたとき→(P.72)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑪ 水量表示・洗剤量表示	**水量表示が自動で切り替わる**	洗濯・脱水槽に、約24L以上の水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が自動計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。**→(P.55)** または、水量を手動で変更してください。**→(P.54)**
	水量表示が自動設定されたが、水量が少ない	「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.59)**
	洗濯物の量が少なくても、洗剤量(目安)表示が多めに表示される	下記の場合は、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物 ・ぬれている洗濯物 ・厚手の洗濯物(重いため) 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		「水量を多めにする」を解除してください。**→(P.59)**
	洗濯物の量が多くても、洗剤量(目安)表示が少なめに表示される	モーターのなじみの影響により、洗濯物の量が少なめに表示される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		「水量を多めにする」を設定してください。**→(P.59)**
⑫ 残時間表示	**洗い中に残時間が点滅する**	AIお洗濯が、運転中に点滅することがあります。 汚れの落ち具合を見分けて、汚れの量が多いときは洗い行程の運転時間が長くなる場合があります。(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)
	脱水運転後に残時間が点滅する	脱水運転後に、洗濯物をほぐす動作をしているときの表示です。 一時停止ボタンを押すと、自動で電源が切れ、洗濯物を取り出すことができます。
	乾燥運転中に残時間が減らないで点滅する	あと「10分」、「20分」、「30分」と表示されてから、1～2時間運転を続けることがあります。 洗濯物の乾きが足りない場合、運転時間を自動で追加するためです。 2回以上連続で乾燥すると、乾燥時間が長くなります。
	残時間が変わる(途中で増減する)	残時間は運転途中で補正されるため、運転の途中で表示が増える、または減る場合があります。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑬衣類に洗剤残りがある (白いものが残る)	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、溶け残るおそれがあります。 洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れてください。→(P.22)
	石けん(天然油脂)は、洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)に入れないでください。 石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.23)
	水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「水量を多めにする」を設定してください。→(P.59) ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。→(P.47) ・すすぎ回数を増やす、または「注水すすぎ」を設定してください。→(P.54) ・粉末合成洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑭糸くずが気になる	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 ・「水量を多めにする」を設定してください。→(P.59) ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。→(P.47) ・「注水すすぎ」を設定してください。→(P.54)
	洗濯・脱水槽の内部に、たい積した固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により、洗濯物に糸くずが付着することがあります。 ・「洗濯槽自動おそうじ」を設定してください。→(P.47) ・「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。→(P.70)
	市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。 市販の糸くず防止用洗濯ネットには、洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 洗濯物の間に洗剤や糸くずが残ったままになる場合があります。
	タオルなどのほこりの出やすい洗濯物を乾燥したあとに、色の濃い洗濯物を洗濯した場合、糸くずが気になることがあります。
	内ふた周辺に付着した糸くずなどは、柔らかい布でふき取ってください。 糸くずが付着していると、水漏れや糸くずが洗濯物に付着する原因になります。
⑮汚れ落ちがわるい	洗濯物を入れ過ぎていないことを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→(P.30)
	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、高濃度洗剤液を作ることができません。 ・洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.20) 洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちがわるくなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.23)
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは洗い運転の時間を長く設定してください。→(P.54)
	AIお洗濯を設定してください。→(P.46)
	「つけおきプラス」や「温水」を設定してください。→(P.48~51)
	つけおきプラスで運転しても、汚れ落ちがわるい場合があります。 色落ちしないことを確認し、汚れの気になるところに直ぬりしてから洗濯することをお試しください。
	フリースなど水を含みにくい洗濯物は浮いてしまい、洗い残しや汚れ落ちがわるくなる場合があります。また、洗濯物を傷めたり本体の故障の原因になります。 洗濯物の量を減らしてください。(洗濯・脱水槽の半分程度)

お困りのとき　つづき

こんなときは	ここを確認してください
⑯色移りや変色が気になる	取扱絵表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗濯してください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.47)**
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 さびが含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
⑰洗濯物がゴワゴワする	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤を使用してください。
⑱衣類のにおいや黒ずみ、黄ばみが気になる	くりかえしの洗濯で、柔軟剤や石けんかすなどが衣類や洗濯・脱水槽に蓄積し、においや黒ずみ、黄ばみの原因になることがあります。 これらは洗剤、柔軟剤の種類を変えたり、漂白剤を併用することで改善することがありますので、順番にお試しください。 ・現在、中性の洗剤をお使いの場合は、弱アルカリ性(粉末合成洗剤)をお試しください。 ・消臭、抗菌効果が記載されている洗剤、柔軟剤をお試しください。 ・酸素系漂白剤を併用してください。 粉末タイプ(弱アルカリ性)を推奨します。 ※容器に記載されている注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。 投入量は、表示に従って適量を入れてください。**→(P.20)**
	運転設定で改善が見込めるのは下記の通りです。 ・におい、黒ずみ、黄ばみが気になる場合： 「つけおきプラス」や「温水」を設定してください。**→(P.48～51)** ・におい、黒ずみが気になる場合： 「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.47)** すすぎ回数を増やす、または「注水すすぎ」を設定してください。**→(P.54)** ・におい、黄ばみが気になる場合： 洗い時間を長く設定するのをお試しください。**→(P.54)**
	使いかたで改善が見込めるのは下記の通りです。 ・洗剤は洗剤トレイ(洗剤・漂白剤投入口)、柔軟剤は柔軟剤投入ケースに適量を入れてください。**→(P.22)** 投入する場所が違ったり、適量を入れなかった場合は、においや黒ずみ、黄ばみの原因になります。 ・ぬれた洗濯物を洗濯・脱水槽内に入れたままにせず、早めに取り出してください。 においの原因になります。 ・洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビや菌が繁殖している可能性があります。 「つけおきプラス」や「温水」、「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.47～51)** ・お湯取運転に入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。 ・においや黒ずみ、黄ばみが気になる場合は、洗剤や漂白剤に記載のつけおき方法をお試しください。

こんなときは	ここを確認してください
⑲乾きがわるい	洗濯物の量が多いと、乾きがわるくなる場合があります。 洗濯物の量を減らしてください。
	洗▶乾運転の「おいそぎ」コースは、2kgを超えた衣類を入れると乾きがわるくなります。
	「低温乾燥」コースで綿素材の衣類を乾燥する場合、乾きムラになることがあります。 綿素材の衣類は、乾燥「標準」コースをおすすめします。
	洗濯物が絡んだまま乾燥すると、乾きムラになる場合があります。 脱水運転後に洗濯物の絡みをほぐしてから、乾燥運転をしてください。
	乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは乾燥運転が終わったあと毎回お手入れをしてください。→**(P.63、64)**
	脱水が不十分な洗濯物を乾燥すると、乾燥時間が長くなったり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 脱水運転をしたあとで、乾燥運転をしてください。
	洗濯物の組み合わせや、本体を設置している場所の気温が低い場合(特に冬場など)には、乾きムラが発生する場合があります。 乾き具合を調整してください。→**(P.60)**
	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。 給水されないと、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥運転のみの場合も同様です。
	排水ができない場合、正常に乾燥運転ができなくなります。 糸くずが詰まっているときは、排水口・排水トラップ、または排水ホースのお手入れをしてください。→**(P.69)**
⑳乾燥ジワが気になる	洗濯物の量が多いと、シワがつきやすくなります。 洗濯物の量を2kg以下に減らして、乾燥運転してください。
	洗濯物が絡んだまま乾燥運転すると、シワがつきやすくなります。 脱水運転後に洗濯物の絡みをほぐし、シワを伸ばしてから乾燥運転をしてください。
	運転終了後、洗濯物を入れたままにしておくと、洗濯物の重みでシワがつきやすくなります。運転終了後は洗濯物を早めに取り出してください。
	シワを防ぎたいときは、下記をお試しください。 ・乾燥「標準」コースで、乾燥時間「30分」設定で乾燥してください。→**(P.45)** 生乾きのまま乾燥運転が終わります。運転後につり干ししてください。
	脱水運転終了後、洗濯物を取り出して、脱水ジワを取ってから乾燥運転をしてください。

もしものとき

給水ホース内の水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く

1 排水ホースが排水口に差し込まれていることを確認し、水栓(蛇口)を閉める

2 電源を入れる

3 洗濯 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

4 スタートボタンを押し、約1分間運転する
すぐに給水動作が始まり、給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

5 一時停止ボタンを押し、運転を一時停止する

6 電源を切る

7 給水ホースを外し、下に向ける
残水が垂れる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

洗濯・脱水槽の水を抜く

8 お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.26)

9 電源を入れる

10 脱水 を押し、脱水「1分」を設定して運転する→(P.55)
洗濯・脱水槽と排水ホース内の残水が排水されます。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。

もしも凍結したとき

1 **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**
お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 **約40℃のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する**

3 **給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける**

4 **電源を入れる**

5 **スタートボタンを押し、放置する(給水弁を解凍します)**
通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(20分程度)

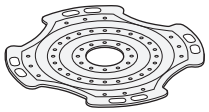
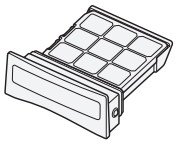
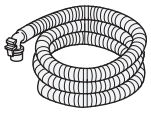
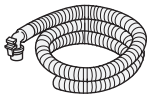
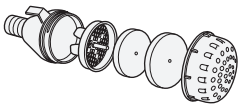
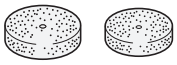
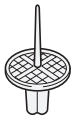
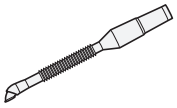
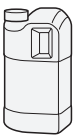
6 **電源を切る**

7 **次の3点を確認する**
(1)手で洗濯・脱水槽を回せるか
(2)電源を入れ、「脱水」を押し、脱水「1分」→**(P.55)**を設定してスタートし、排水するか
(3)風呂水が吸水されるか（「標準」コースでお湯取運転の設定をして運転する）
　風呂水ポンプの解凍は時間がかかるため、吸水できない場合は、自動で水道水給水に切り替わります。
※確認できない場合は、 1 ～ 6 を始めからやり直してください。

別売り部品

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または「パーツショップ」へご依頼ください。

パーツショップはこちら

こんなときに	別売り部品
毛布コースで洗濯をするとき	**お洗濯キャップ（MO-F92)** （部品番号 MO-F92-001） 
糸くずフィルターが破損したとき	**糸くずフィルター（1個）** （型式 NET-KDV80H-001） 
乾燥フィルターのネットが破れたときや、破損したとき	**乾燥フィルター** （部品番号 BW-D9WV-001） 
付属品のお湯取ホースが破損したとき	**お湯取ホース（約7m）** （部品番号 NW-7P5-045） クリーンフィルターは付いていません。 
	お湯取ホース（約4m） （部品番号 NW-7P5-057） クリーンフィルターは付いていません。 
クリーンフィルターが目詰まりしたときや、破損したとき	**クリーンフィルター** （部品番号 BW-X100J-101） 
	お湯取ポンプストレーナ （部品番号 NW-60RS1-048） 
	お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット （部品番号 BW-X100J-102） 
	お湯取ポンプネット （部品番号 BW-X100J-103） 
風呂水吸水口のフィルターが破損したとき	**ポンプフィルター** （部品番号 BD-ST9700L-003） 
乾燥フィルター差し込み口のお手入れのとき	**スイコミノズル** （部品番号 BW-D10SV-037） 
洗濯物のにおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のにおい、汚れが気になるとき	**洗濯槽クリーナー（SK-1500）** **(防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL)** （部品番号 SK-1500-001） 

仕様・試験結果

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型　　式	BW-DV80J
電　　源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量	8.0kg (乾燥状態での布質量)
標準脱水容量	
標準乾燥容量	4.5kg(乾燥状態での布質量)
標　準　水　量	52L(洗濯「標準」コース)
標準使用水量	8kg 洗濯時　92L(洗濯「標準」コース) 4.5kg 洗乾時 103L(洗乾「標準」コース)
電動機の定格消費電力	245W(50-60Hz)
電熱装置の定格消費電力	850W(50-60Hz)
定格消費電力	1,000W(30℃)
洗　濯　方　式	うず巻式
水　道　水　圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外　形　寸　法	幅610mm×奥行635mm×高さ1,040mm
質　　量	約52kg

このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950：2021による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://corp.hitachi-gls.co.jp/_ct/17577871

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚　水　量	毎分12L（全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定格電圧	DC 24V		
定格電流	DC 1.7A	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）

仕様・試験結果　つづき

洗濯槽自動おそうじの効果

試験方法	除菌・抑制方法	対象部分	試験結果	報告書No.
外槽・ステンレス槽に取り付けた菌付着プレートの菌の減少率測定	洗濯槽自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	菌の減少率99%	北生発26_0024号
外槽・ステンレス槽に取り付けたカビ付着プレートのカビ抑制確認	洗濯槽自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	カビの減少率99%	北生発26_1024号

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

除菌清潔プラスコースの効果

試験方法	除菌方法	対象部分	試験結果	報告書No.
洗濯物に付着させた菌の減少率測定	除菌清潔プラスコースによる	衣類に付着した菌	菌の減少率99%	北生発2021_0599号
洗濯物に付着させたウイルスの減少率測定	除菌清潔プラスコースによる	衣類に付着したウイルス	ウイルスの減少率99%	

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

温水「180分」の効果

試験方法	除菌・消臭方法	対象部分	試験結果	報告書No.
菌を塗布した試験布の菌の減少率測定	温水「180分」による	洗濯した衣類	菌の減少率99%	北生発2022_0522号

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（裏表紙）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
また、部品共用化のため色などを変更する場合があります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→**(P.90)**にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- ●車両、船舶に搭載して使用された場合。
- ●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検



長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●運転が途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。 ●乾燥時間が異常に長くなった。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス　つづき

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。
ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ご相談の前に本取扱説明書の「お困りのとき」をご確認ください。
また日立家電品サポートページで、「よくあるご質問」や「使いかた動画」
など各種情報をご覧いただけます。**「日立家電品サポートページ」**はこちら

※下記の内容は予告なく変更させていただく場合があります。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。

日立家電　サポート　検索

製品情報や使いかたに関するご相談窓口

機能・操作・設定などのご相談ができます。
電話のほかLINE、チャット、メールなど様々なお問い合わせ方法を準備しております。詳しくは日立家電品サポートページをご覧ください。

TEL　0120-3121-11
携帯電話 050-3155-1111（有料）
FAX　050-3135-2134（有料）

■受付時間：9:00～17:30（月～土）
(日曜・祝日、年末年始は休業)

修理に関するご相談窓口

修理のご依頼やご相談ができます。
24時間、修理のご依頼ができる
「Web修理受付」はこちら

日立家電　修理Web　検索

TEL　0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68（有料）
FAX　0570-2006-57（有料）

■受付時間：9:00～18:00（月～土）
9:00～17:00（日、祝日）

部品のご購入について

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または「パーツショップ」へご依頼ください。

https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx

日立家電　部品　検索

●通話内容の確認と対応品質向上のため、録音させていただきます。
●予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。
●営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えておかけ直しをお願いします。
●修理ご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして、「修理ご利用規約」をご覧ください。

日立修理ご利用規約　検索

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】
●個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
●当社の個人情報保護方針につきましては、https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy をご覧ください。
※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
●製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

日立家電メンバーズクラブのご案内

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくと、スマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■My家電への製品登録

① コードを読み取る

登録は
こちら

② 画面の案内に従って家電品を登録 ※1



※1 家電品の登録には製品型式や製造番号が必要です。製品本体の銘板をご確認ください。

コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/

■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

webにてご依頼いただくと安全点検サービス割引

ご使用の家電品を長くご利用いただくために安全点検の標準技術料が10%引になります。

※本サービスには、不具合の改善や修理作業などは含まれておりません。

※一部対象外製品がございます。

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

■「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証書

修理を依頼されるときは(出張修理)

「お困りのとき」→**(P.72～83)**に従って調べていただき、なお異常があるときはご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下記のことをお知らせください。

1.型式：製品本体の銘板を確認してください　2.故障の状況：できるだけ詳しく

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、
保証書をよくお読みください。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

日立電気洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立電気洗濯乾燥機 保証書　出張修理

※型式	
※お買い上げ日	年　月　日
保証期間 (お買い上げ日から)	**本体：1年**
※お客様	お名前　様
	ご住所 〒 電話
※販売店	住所・店名 電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますからご確認ください。記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理に関するご相談窓口」→**(P.90)**にご連絡ください。
(ハ)この製品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。
2.ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3.贈り物でいただいたものの修理などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、「修理に関するご相談窓口」→**(P.90)**にご相談ください。
4.離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
5.保証期間内でも次のような場合には有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6.修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
7.日立電気洗濯乾燥機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、本書による保証の対象外となります。
8.本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
9.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」→**(P.90)**にお問い合わせください。
●お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社　〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
お問い合わせ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯 0570-0031-68
詳しくは「保証とアフターサービス」のページをご覧ください。

2-N2311-1B
K3(SH)